PIXUS MX7600

操作ガイド

お手入れ・困ったときには編

使用説明書

ご使用前に必ずこの使用説明書をお読みください。
将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

目次

インクタンクを交換する

ここでは、インクの状態を確認する方法や、インクタンクを交換する方法について説明します。

インクがなくなるなどのエラーが発生すると、液晶モニターにエラーメッセージを表示してお知らせします。「液晶モニターにエラーメッセージが表示されている」（P.32）を参照して対処方法を確認してください。

パソコンから印刷している場合は、パソコンの画面にもエラーメッセージが表示されます。

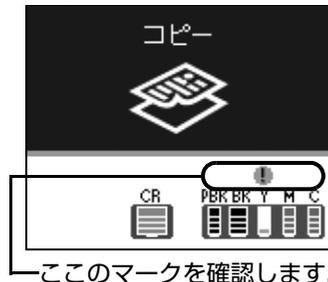
- プリントヘッドホルダに付いているラベルにしたがって、インクタンクを正しい位置に取り付けてください。取り付け位置を間違えると印刷できません。
- 本機で使用できるインクタンクの番号については、本書の裏表紙を参照してください。
- インクが残っているのに印刷がかすれたり、白すじが入る場合は、「印刷にかすれやむらがあるときは」（P.12）を参照してください。

カラーまたはブラックインクの状態を確認する

以下の 2 つの方法でカラーまたはブラックインク（PGI-2PBK/Y/M/C または PGI-1BK）の状態を確認できます。

- 液晶モニターで確認する⇒下記参照
- インクランプで確認する⇒ P.3

■ 液晶モニターで確認する

本機の電源が入っていることを確認し、コピーボタン、ファクスボタン、スキャンボタンまたはメモリーカードボタンを押すと、現在のインク残量が液晶モニターに表示されます。

カラーまたはブラックインクが少なくなっています。印刷を続行することはできますが、新しいインクタンクのご用意をお勧めします。

カラーまたはブラックインクがなくなった可能性があります。「液晶モニターにエラーメッセージが表示されている」の「インクがなくなった可能性があります」（P.32）を参照して対処してください。

印刷中に表示される画面でも、インクの状態を確認することができます。

印刷の途中で液晶モニターにエラーメッセージが表示される場合もあります。

インクがなくなったインクタンク

インクがなくなりました。「液晶モニターにエラーメッセージが表示されている」の「インクなしを検知しました」(P.33)を参照して対処してください。

■ インクランプで確認する

インクランプの表示により、インクの状態を確認できます。本機のスキャナユニット(プリンタカバー)を開けてインクランプを確認してください。

● 点灯

インクタンクは正しく取り付けられていて、印刷するのに十分なインクが残っています。

● 点滅

ゆっくり点滅(約 3 秒間隔) ・・・繰り返し

インクが少なくなっています。印刷を続行することはできますが、新しいインクタンクのご用意をお勧めします。

はやく点滅(約 1 秒間隔)● ● ● ● ● ・・・繰り返し

インクタンクが間違った位置に取り付けられているか、インクがなくなっています。プリントヘッドホルダに付いているラベルのとおりに正しい位置に取り付けられているか確認してください。取り付け位置が正しいのにインクランプが点滅している場合は、インクがなくなっています。新しいインクタンクに交換してください。

● 消灯

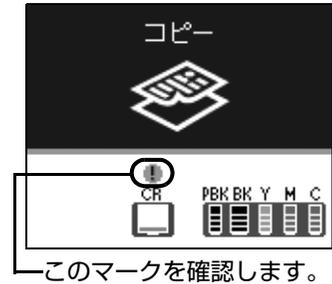
インクタンクがしっかり取り付けられていないか、インク残量検知機能を無効にしています。インクタンクがしっかり取り付けられていない場合は、インクタンクの PUSH の部分を「カチッ」という音がするまでしっかり押して、インクタンクをセットしてください。しっかりセットできない場合は、インクタンクの底部にあるオレンジ色の保護キャップが外れているか確認してください。インク残量検知機能を無効にしている場合は、新しいインクタンクを取り付けてください。インクタンクの取り付け方は、「交換の操作」(P.5)を参照してください。

インクタンクを取り付け直してもインクランプが消灯している場合は、エラーが発生し、印刷できない状態です。液晶モニターに表示されているエラー内容をご確認ください。⇒ P.32

クリアインクの状態を確認する

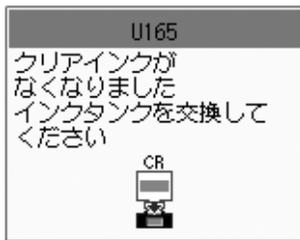
クリアインクは、普通紙に印刷する場合に使用されるインクです。

クリアインク（PGI-2Clear）が残り少なくなると、用紙の種類で普通紙（カセット）を選んで印刷を開始したときに、液晶モニターにメッセージが表示されます。

このマークを確認します。

クリアインクが少なくなっています。印刷を続行することはできますが、新しいインクタンクのご用意をお勧めします。

クリアインクタンクが空になりました。「液晶モニターにエラーメッセージが表示されている」の「クリアインクタンクが空になりました」（P.32）を参照して対処してください。

- 印刷中に表示される画面でも、インクの状態を確認することができます。
- クリアインクは、普通紙に印刷するときに使用されます。したがって、クリアインクがなくなった場合でも、後トレイに写真用紙など、普通紙以外をセットして印刷することができます。

普通紙を使用した印刷の途中で、クリアインクがなくなると、液晶モニターに次のエラーメッセージが表示されます。

「クリアインクタンクの交換」（P.8）を参照し、クリアインクタンクの交換を行ってください。クリアインクタンクを交換しない場合は、「液晶モニターにエラーメッセージが表示されている」の「クリアインクがなくなりました」（P.33）を参照して対処してください。

クリアインクがなくなると、カセットからの普通紙を使用した印刷はできなくなります。

また、クリアインクがない状態で受信したファクスは、メモリに保存されます。

クリアインクがなくなった場合でも、写真用紙など、普通紙以外の用紙を後トレイから給紙して印刷することはできます。

交換の操作

■ カラーまたはブラックインクタンクの交換

カラーまたはブラックインクタンク（PGI-2PBK/Y/M/C または PGI-1BK）のインクがなくなったときは、次の手順でインクタンクを交換します。

重要

- インクタンクに穴を開けるなどの改造や分解をすると、インクが漏れ、本機の故障の原因となることがあります。改造・分解はお勧めしません。
- インクの詰め替えなどによる非純正インクのご使用は、印刷品質の低下やプリントヘッドの故障の原因となることがあります。安全上問題はありませんが、まれに、純正品にないインク成分によるとみられるプリントヘッド部分の発熱・発煙事例 * も報告されています。キヤノン純正インクのご使用をお勧めします。
（* すべての非純正インクについて上記事例が報告されているものではありません。）
- 非純正インクタンクまたは非純正インクのご使用に起因する不具合への対応については、保守契約期間内または保証期間内であっても有償となります。
- インクタンクの交換はすみやかに行い、インクタンクを取り外した状態で放置しないでください。
- 交換用インクタンクは新品のものを装着してください。インクを消耗しているものを装着すると、ノズルがつまる原因になります。また、インク交換時期を正しくお知らせできません。
- 最適な印刷品質を保つため、インクタンクは梱包箱に記載されている「取付期限」までに本機に取り付けてください。また、開封後 6ヶ月以内に使い切るようにしてください（本機に取り付けた年月日を、控えておくことをお勧めします）。

黒のみの文章を印刷したり、モノクロ印刷をするときにも、ブラック以外のインクが使われることがあります。
また、本機の性能を維持するために行うクリーニングや強力クリーニングでも、各色のインクが使われます。
インクがなくなった場合は、すみやかに新しいインクタンクに交換してください。

1 スキャナユニット（プリンタカバー）と排紙トレイを開く

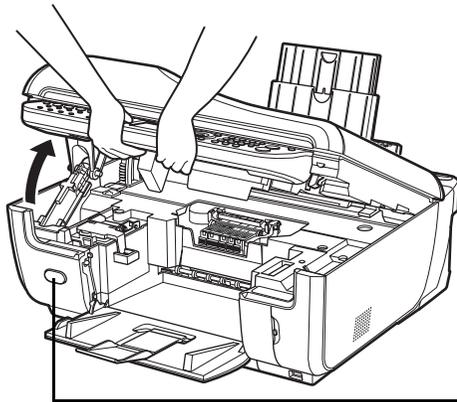
❶ 本機の電源が入っていることを確認します。

❷ スキャナユニット（プリンタカバー）を止まるまで持ち上げます。
自動的に排紙トレイが開き、プリントヘッドが交換位置まで移動します。

⚠ 注意

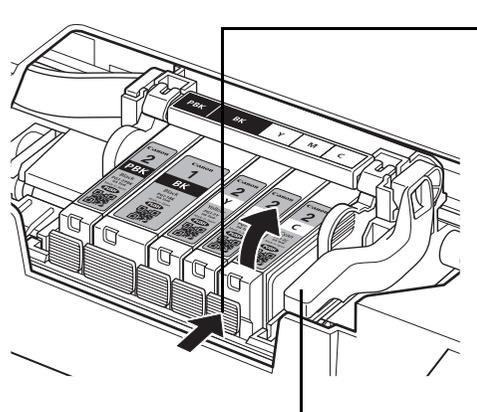
プリントヘッドホルダを手で止めたり、無理に動かしたりしないでください。

重要

- 原稿台カバーが開いていると、スキャナユニット（プリンタカバー）は開きません。必ず、原稿台カバーといっしょにスキャナユニット（プリンタカバー）を持ち上げてください。
- 液晶モニターを持たないでください。
- 本体内部の金属部分やその他の部分に触れないでください。

排紙トレイが自動で開かないときは、
排紙トレイオープンボタンを押して
排紙トレイを開きます。

重要

スキャナユニット（プリンタカバー）を 10 分間以上開けたままにすると、プリントヘッドが右側へ移動します。その場合は、いったんスキャナユニット（プリンタカバー）を閉じ、開け直してください。

2　インクランプがはやく点滅しているインクタンクを取り外す

プリントヘッドの固定レバーには触れないようにしてください。

❶ インクタンクの固定つまみを押し、インクタンクを上に持ち上げて外します。

重要

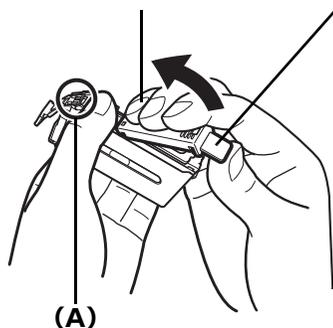
- 衣服や周囲を汚さないよう、インクタンクの取り扱いには注意してください。
- 空になったインクタンクは地域の条例にしたがって処分してください。
  また、キヤノンでは使用済みインクタンクの回収を推進しています。詳しくは「使用済みインクカートリッジ回収のお願い」（P.69）を参照してください。

参考

- 一度に複数のインクタンクを外さず、必ず 1 つずつ交換してください。
- インクランプの点滅速度については、「カラーまたはブラックインクの状態を確認する」（P.2）を参照してください。

3　インクタンクを準備する

指にインクが付着しないように、キャップを押さえながら取り外します。

(A)

❶ インクタンクのオレンジ色の保護キャップを、図のように取り外します。

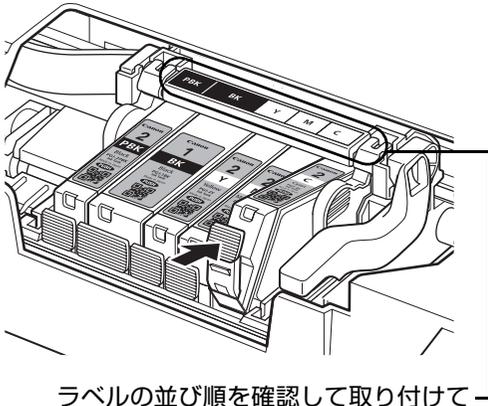
取り外した保護キャップはすぐに捨ててください。

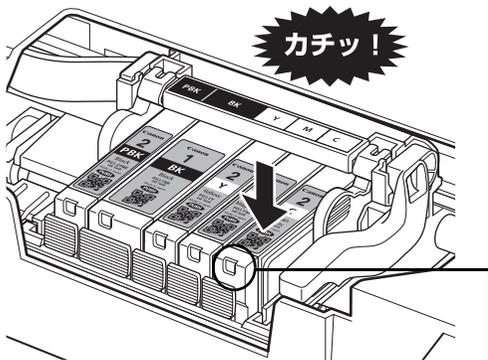
インクタンクの基板部分（A）には触らないでください。正常に動作／印刷できなくなるおそれがあります。

重要

- インクタンクを振るとインクが飛び散り、手やまわりのものを汚すおそれがあります。インクタンクの取り扱いには注意してください。
- インクが飛び出すことがありますので、インクタンクの側面は強く押さないでください。
- 取り外した保護キャップに付いているインクで、手やまわりのものを汚すおそれがあります。ご注意ください。
- 取り外した保護キャップは、再装着しないでください。地域の条例にしたがって処分してください。
- 保護キャップを取り外したあと、インク出口に手を触れないでください。インクが正しく供給されなくなる場合があります。

4　インクタンクを取り付ける

❶ 新しいインクタンクをプリントヘッドに向かって斜めに差し込みます。

ラベルの並び順を確認して取り付けてください。

❷ インクタンク上面のPUSH部分を「カチッ」という音がするまでしっかり押して、インクタンクを固定します。

インクランプが赤く点灯していることを確認してください。

印刷するためにはすべてのインクタンクをセットしてください。ひとつでもセットされていないインクタンクがあると印刷することができません。

5 スキャナユニット（プリンタカバー）をゆっくり閉じる

本機が自動的にインクをかき混ぜます。

動作音がしなくなるまでお待ちください（最長で2分程度かかります）。本機の動作中は、スキャナユニット（プリンタカバー）を開けないでください。

注意

スキャナユニット（プリンタカバー）は必ず両手でしっかりと持ち、指などはさまないように注意してください。

液晶モニターは持たないでください。

- スキャナユニット（プリンタカバー）を閉じたあとに液晶モニターにエラーメッセージが表示されている場合は、「液晶モニターにエラーメッセージが表示されている」（P.32）を参照してください。
- 次回印刷を開始すると、自動的にプリントヘッドのクリーニングが開始されます。終了するまでほかの操作を行わないでください。

■ クリアインクタンクの交換

クリアインクタンク（PGI-2Clear）のインクがなくなったときは、次の手順でインクタンクを交換します。

重要

インクの取り扱いについて

- 最適な印刷品質を保つため、キヤノン製の指定クリアインクタンクのご使用をお勧めします。
  また、インクのみの詰め替えはお勧めできません。
- クリアインクタンクの交換はすみやかに行い、クリアインクタンクを取り外した状態で放置しないでください。なお、クリアインクタンクが取り付けられていない状態ではプリンタは動作しません。
- クリアインクタンクは必ずインクなしのメッセージが表示されてから交換してください。空になる前に交換すると、インク交換時期を正しくお知らせできません。
- 交換用クリアインクタンクは新品のものを装着してください。インクを消耗しているものを装着すると、故障の原因となります。また、インク交換時期を正しくお知らせできません。
- 最適な印刷品質を保つため、クリアインクタンクは梱包箱に記載されている「取付期限」までに本機に取り付けてください。また、開封後 6ヶ月以内に使い切るようにしてください（本機に取り付けた年月日を、控えておくことをお勧めします）。

1 スキャナユニット（プリンタカバー）と排紙トレイを開く

❶ 本機の電源が入っていることを確認します。

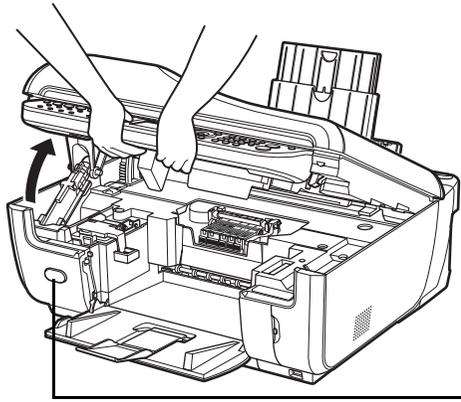
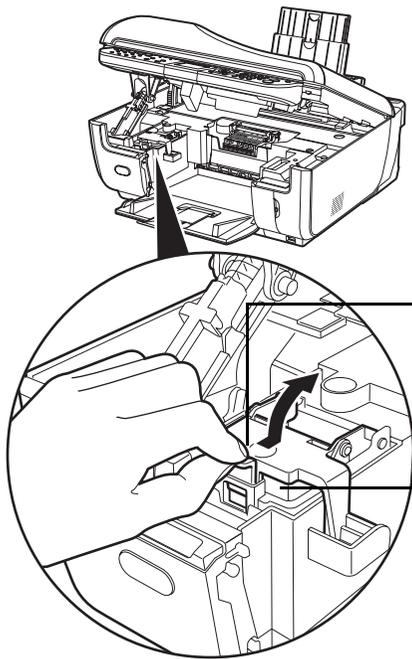
クリアインクタンクを交換するときは、必ず本機の電源を入れてください。電源が切れている状態で交換すると、実際のインク残量と残量検知表示が一致しなくなります。

❷ スキャナユニット（プリンタカバー）を止まるまで持ち上げます。

注意

プリントヘッドホルダを手で止めたり、無理に動かしたりしないでください。

重要

- 原稿台カバーが開いていると、スキャナユニット（プリンタカバー）は開きません。必ず、原稿台カバーといっしょにスキャナユニット（プリンタカバー）を持ち上げてください。
- 液晶モニターを持たないでください。
- 本体内部の金属部分やその他の部分に触れないでください。

2 クリアインクタンクを取り外す

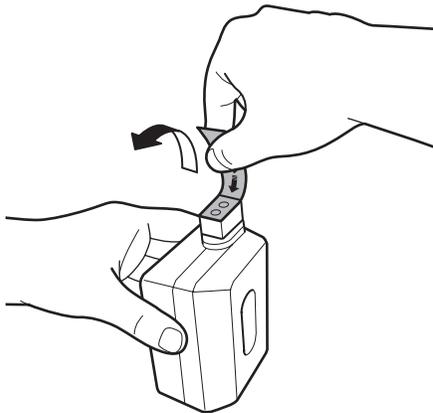
❶ クリアインクタンクの固定つまみを押し、クリアインクタンク固定カバーを開けます。

重要

- インクをこぼしたり、衣服や周囲を汚さないよう、インクタンクの取り扱いには注意してください。
- 空になったインクタンクは地域の条例にしたがって処分してください。
  また、キヤノンでは使用済みインクタンクの回収を推進しています。詳しくは「使用済みインクカートリッジ回収のお願い」（P.69）を参照してください。

❷ クリアインクタンクを取り出します。

3 クリアインクタンクを準備する

クリアインクタンクのオレンジ色のテープを矢印の方向に引いて保護フィルムをはがします。

- クリアインクタンクを振るとインクが飛び散り、手やまわりのものを汚すおそれがあります。インクタンクの取り扱いには注意してください。
- インクが飛び出すことがありますので、クリアインクタンクの側面は強く押さないでください。
- クリアインクは透明ですが、取り外した保護フィルムについているインクで、手やまわりのものを汚すおそれがあります。ご注意ください。
- 保護フィルムを取り除いたあと、インク出口に手を触れないでください。インクが正しく供給されなくなる場合があります。

4 クリアインクタンクを取り付ける

斜めの角が左手前になるようにセットします。

❶ クリアインクタンクをまっすぐに差し込みます。

中央のへこみをしっかりと押します。

❷ クリアインクタンク固定カバーを閉じ、「カチッ」という音がするまでしっかり押して、インクタンクを固定します。

5 スキャナユニット（プリンタカバー）をゆっくり閉じる

印刷の準備ができるまで、約 2 分間印刷はできません。

⚠ 注意

スキャナユニット（プリンタカバー）は必ず両手でしっかりと持ち、指などはさまないように注意してください。

液晶モニターは持たないでください。

スキャナユニット（プリンタカバー）を閉じたあとに液晶モニターにエラーメッセージが表示されている場合は、「液晶モニターにエラーメッセージが表示されている」（P.32）を参照してください。

きれいな印刷を保つために（プリントヘッドの乾燥・目づまり防止）

プリントヘッドの乾燥と目づまりを防ぐため、次のことに注意してください。

● 電源を切るときのお願い

本機の電源を切るときには、必ず以下の手順にしたがってください。

❶ 本機の電源ボタンを押して電源を切る

❷ 操作パネルのランプがすべて消えたことを確認する

❸ 電源プラグをコンセントから抜く、またはテーブルタップのスイッチを切る

電源ボタンを押して電源を切ると、プリントヘッド（インクのふき出し口）の乾燥を防ぐために、本機は自動的にプリントヘッドにキャップをします。このため、操作パネルのランプがすべて消える前にコンセントから電源プラグを抜いたり、スイッチ付テーブルタップのスイッチを切ってしまうと、プリントヘッドのキャップが正しく行われず、プリントヘッドが、乾燥・目づまりを起こしてしまいます。

● 長期間お使いにならないときは

長期間お使いにならない場合は、定期的に（月 1 回程度）印刷することをお勧めします。サインペンが長期間使用されないとキャップをしていても自然にペン先が乾いて書けなくなるのと同様に、プリントヘッドも長期間使用されないと乾燥して目づまりを起こす場合があります。

長期間お使いにならなかったときは、印刷の前にノズルチェックパターンを印刷してプリントヘッドの状態を確認されることをお勧めします。

⇒「ノズルチェックパターンを印刷する」（P.13）

● インクは定期的にかき混ぜられています

本機では、きれいな印刷を得るために、インクを自動的にかき混ぜています。そのため、印刷を定期的に行っていれば、インクをいつでもよい状態に保つことができます。

長期間お使いになっていないときなどは、電源を入れると自動的にインクがかき混ぜられます。自動でインクをかき混ぜる設定になっていない場合は、インクが分離して、インクの濃度にむらが発生することがありますので、『ユーザーズガイド』（電子マニュアル）の「手動でインク品質保持を行う」を参照し、インクをかき混ぜてから印刷を行ってください。

- 用紙によっては、印刷した部分を蛍光ペンや水性ペンでなぞったり、水や汗が付着した場合、インクがにじむことがあります。
- プリントヘッドが目づまりを起こすと、印刷がかすれたり特定の色が出なくなります。詳しくは「印刷にかすれやむらがあるときは」（P.12）を参照してください。

印刷にかすれやむらがあるときは

インクがまだ十分にあるのに印刷がかすれたり特定の色が出なくなったときには、プリントヘッドのノズルが目づまりしている可能性があります。ノズルチェックパターンを印刷してノズルの状態を確認したあとに、プリントヘッドのクリーニングを行ってください。
また、印刷の結果が思わしくないときは、プリントヘッドの位置調整を行うと状態が改善することがあります。

お手入れを行う前に

- スキャナユニット（プリンタカバー）を開け、インクランプが赤く点灯していることを確認してください。
  点滅または消灯しているインクランプがある場合は、「カラーまたはブラックインクの状態を確認する」（P.2）を参照して、必要な操作を行ってください。
- プリンタドライバの印刷品質を上げることで、印刷結果が改善される場合があります。詳しくは『PC プリントガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

Step 1
ノズルチェックパターンの印刷 ⇒ P.13

パターンが欠けている場合

Step 2
プリントヘッドのクリーニング ⇒ P.15

2 回繰り返しても改善されない場合

Step 3
プリントヘッドの強力クリーニング ⇒ P.16

Step 3 までの操作を行っても症状が改善されない場合は、電源を切って 24 時間以上経過したあとに、もう一度強力クリーニングを行ってください。それでも改善されない場合は、プリントヘッドが故障している可能性があります。お客様相談センターまたは修理受付窓口に修理をご依頼ください。⇒ P.67

罫線がずれている

プリントヘッド位置の調整 ⇒ P.17

お手入れの操作は、パソコンから行うこともできます。詳しくは『PC プリントガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

ノズルチェックパターンを印刷する

プリントヘッドのノズルからインクが正しく出ているかを確認するために、ノズルチェックパターンを印刷してください。

1 **本機の電源が入っていることを確認し、カセットに A4 サイズの普通紙を 1 枚セットする**

2 **排紙トレイを開いてから、補助トレイを開く**

❶ 排紙トレイオープンボタンを押して、排紙トレイを開きます。

❷ 補助トレイを開きます。

3 **ノズルチェックパターンを印刷する**

❶ メニューボタンを押します。

❷ ◀▶ ボタンで［メンテナンス／各設定］ を選び、OK ボタンを押します。

メンテナンス／各設定画面が表示されます。

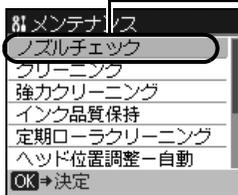
❸ ◀▶ ボタンで［メンテナンス］を選び、OK ボタンを押します。

メンテナンス画面が表示されます。

❹ ▲▼ ボタンで［ノズルチェック］を選び、OK ボタンを押します。

パターン印刷の確認画面が表示されます。

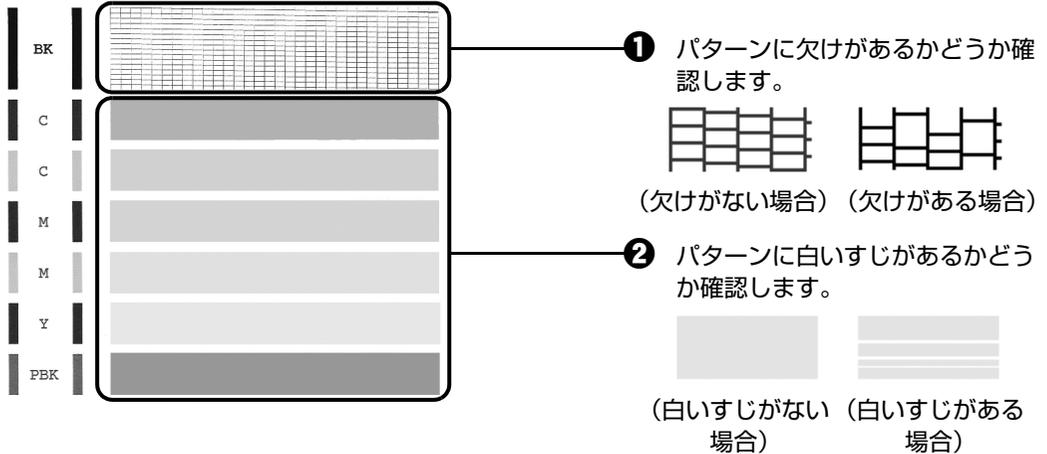
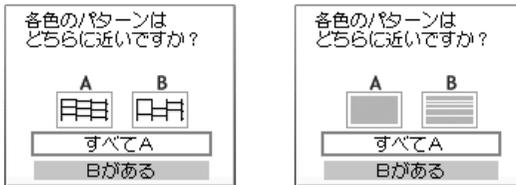
❺ ▲▼ ボタンで［はい］を選び、OK ボタンを押します。

ノズルチェックパターンが印刷され、液晶モニターにパターン確認画面が交互に表示されます。

4 **ノズルチェックパターンを確認し、必要な対処をとる⇒ P.14**

ノズルチェックパターンを確認する

以下の手順でノズルチェックパターンを確認し、必要な場合はクリーニングを行います。

インク残量が少ないとノズルチェックパターンが正しく印刷されません。インク残量が少ない場合はインクタンクを交換してください。⇒ P.2

1 印刷されたノズルチェックパターンを確認する

2 交互に表示されるパターン確認画面で、印刷したノズルチェックパターンに近いパターンを選ぶ

パターンに欠け／白いすじがない場合：

❶ ［すべて A］を選んで OK ボタンを押します。

クリーニングの必要はありません。メンテナンス画面に戻ります。

パターンに欠け／白いすじがある場合：

❶ ［B がある］を選んで OK ボタンを押します。
もう一度クリーニングを行います。クリーニング確認画面が表示されます。

❷ ▲▼ ボタンで［はい］を選んで OK ボタンを押し、プリントヘッドのクリーニングを行ってください。

⇒ P.15

巻末の「インクが出ない・かすれるときは？」にノズルチェックパターンの良い例、悪い例がカラーで掲載されています。そちらもあわせて参照してください。

プリントヘッドをクリーニングする

ノズルチェックパターンを印刷して、パターンに欠けや白いすじがある場合は、プリントヘッドのクリーニングを行ってください。ノズルのつまりを解消し、プリントヘッドを良好な状態にします。プリントヘッドをクリーニングすると、使用したインクがインク吸収体に吸収されます。インクを消耗しますので、クリーニングは必要な場合のみ行ってください。

1 本機の電源が入っていることを確認し、カセットに A4 サイズの普通紙を 1 枚セットする

2 排紙トレイを開いてから、補助トレイを開く

❶ 排紙トレイオープンボタンを押して、排紙トレイを開きます。

❷ 補助トレイを開きます。

3 プリントヘッドをクリーニングする

メンテナンス
ノズルチェック
クリーニング
強力クリーニング
インク品質保持
定期ローラクリーニング
ヘッド位置調整ー自動
OK→決定

❶ メニューボタンを押します。

❷ ◀▶ ボタンで［メンテナンス／各設定］を選び、OK ボタンを押します。

メンテナンス／各設定画面が表示されます。

❸ ◀▶ ボタンで［メンテナンス］を選び、OK ボタンを押します。

メンテナンス画面が表示されます。

❹ ▲▼ ボタンで［クリーニング］を選び、OK ボタンを押します。

確認画面が表示されます。

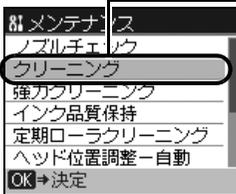
❺ ▲▼ ボタンで［はい］を選び、OK ボタンを押します。

プリントヘッドのクリーニングが開始されます。

クリーニングが終了するまで、ほかの操作を行わないでください。終了まで約 1 分かかります。

パターン印刷の確認画面が表示されます。

❻ ▲▼ ボタンで［はい］を選び、OK ボタンを押します。

ノズルチェックパターンが印刷されます。

4 ノズルチェックパターンを確認し、必要な対処をとる⇒ P.14

クリーニングを 2 回まで繰り返して行っても、改善されないときには、強力クリーニングを行ってください。⇒ P.16

お手入れ

プリントヘッドを強力クリーニングする

プリントヘッドのクリーニングを行っても効果がない場合は、強力クリーニングを行ってください。強力クリーニングを行うと、使用したインクがインク吸収体に吸収されます。強力クリーニングは、通常のクリーニングよりインクを消耗しますので、必要な場合のみ行ってください。

1 本機の電源が入っていることを確認し、カセットに A4 サイズの普通紙を 1 枚セットする

2 排紙トレイを開いてから、補助トレイを開く

❶ 排紙トレイオープンボタンを押して、排紙トレイを開きます。

❷ 補助トレイを開きます。

3 プリントヘッドを強力クリーニングする

❶ メニューボタンを押します。

❷ ◀▶ ボタンで［メンテナンス／各設定］を選び、OK ボタンを押します。

メンテナンス／各設定画面が表示されます。

❸ ◀▶ ボタンで［メンテナンス］を選び、OK ボタンを押します。

メンテナンス画面が表示されます。

❹ ▲▼ ボタンで［強力クリーニング］を選び、OK ボタンを押します。

確認画面が表示されます。

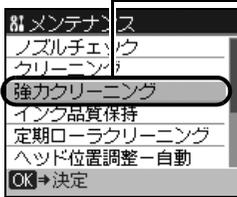
❺ ▲▼ ボタンで［はい］を選び、OK ボタンを押します。

プリントヘッドの強力クリーニングが開始されます。

強力クリーニングが終了するまで、ほかの操作を行わないでください。終了まで約 2 分かかります。

パターン印刷の確認画面が表示されます

❻ ▲▼ ボタンで［はい］を選び、OK ボタンを押します。

ノズルチェックパターンが印刷されます。

4 プリントヘッドの状態を確認する

❶ ノズルチェックパターンを確認します。⇒ P.14
特定の色だけが印刷されない場合は、そのインクタンクを交換します。⇒ P.2

❷ 改善されない場合は、本機の電源を切って 24 時間以上経過したあとに、もう一度強力クリーニングを行います。

❸ それでも改善されない場合は、プリントヘッドが故障している可能性があります。お客様相談センターまたは修理受付窓口に修理をご依頼ください。⇒ P.67

プリントヘッド位置を調整する

罫線がずれたり、印刷結果が思わしくない場合は、プリントヘッド位置を調整してください。

ここでは、自動ヘッド位置調整について記載しています。手動ヘッド位置調整については、『ユーザーズガイド』（電子マニュアル）の「手動でプリントヘッド位置を調整する」を参照してください。

用紙は必ずカセットにセットしてください。後トレイからはプリントヘッドの位置調整はできません。

位置調整パターンは黒と青で印刷されます。

1 本機の電源が入っていることを確認し、カセットに A4 サイズの普通紙を 4 枚セットする

2 排紙トレイを開いてから、補助トレイを開く

❶ 排紙トレイオープンボタンを押して、排紙トレイを開きます。

❷ 補助トレイを開きます。

3 プリントヘッドの位置調整パターンを印刷する

❶ メニューボタンを押します。

❷ ◀▶ ボタンで［メンテナンス／各設定］を選び、OK ボタンを押します。

メンテナンス／各設定画面が表示されます。

❸ ◀▶ ボタンで［メンテナンス］を選び、OK ボタンを押します。

メンテナンス画面が表示されます。

❹ ▲▼ ボタンで［ヘッド位置調整－自動］を選び、OK ボタンを押します。

確認画面が表示されます。

［ヘッド位置調整値印刷］を選ぶと、現在の調整値を印刷できます。

❺ ▲▼ ボタンで［はい］を選び、OK ボタンを押します。

パターンが印刷され、プリントヘッド位置が自動的に調整されます。印刷が終了するまで約 6 分かかります。

- 自動調整が正しく行えなかったときには、液晶モニターに［自動ヘッド位置調整に失敗しました］のメッセージが表示されます。「液晶モニターにエラーメッセージが表示されている」（P.32）を参照してください。
- 上記の手順でヘッド位置調整を行っても印刷結果が思わしくない場合は、『ユーザーズガイド』（電子マニュアル）の「手動でプリントヘッド位置を調整する」を参照して、手動ヘッド位置調整を行ってください。

清掃する

ここでは、清掃のしかたについて説明します。

注意
- 清掃には、ティッシュペーパーやペーパータオルは使わないでください。本機内部に紙の粉や細かな糸くずなどが残り、プリントヘッドの目づまりや印刷不良などの原因になることがあります。部品を傷つけないように、必ず柔らかい布を使ってください。
- ベンジン、シンナー、アルコールなどの揮発性の化学薬品は使わないでください。故障または本機の表面を傷める原因になります。

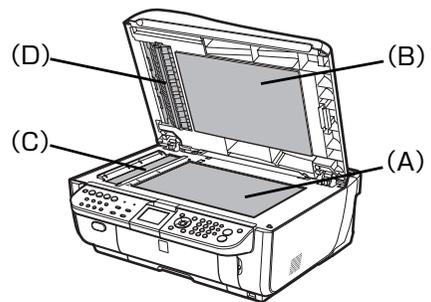
本機の汚れをふき取る

本機の外側をふくときは、必ず柔らかい布（めがねふきなど）を使用し、なるべく布のしわを伸ばしてからやさしく汚れをふき取ってください。

重要
- 清掃する前に、電源を切り、電源プラグを抜いてください。
- ファクスの送受信中や未送信のファクスがメモリに保存されている場合は電源を切ることができません。
- 本機の電源を切るとファクスを受信することができません。
- 電源プラグを抜くと、メモリに保存されているファクスはすべて削除されます。電源プラグを抜くときは、必要なファクスを送信または印刷しておいてください。
- 本機の外側を清掃する場合は、ティッシュやきめの粗い布などを使用すると表面に傷がつくため使用しないでください。
- 中性洗剤やベンジン、シンナー、アルコールなどの揮発性の化学薬品は表面を傷めますので使用しないでください。

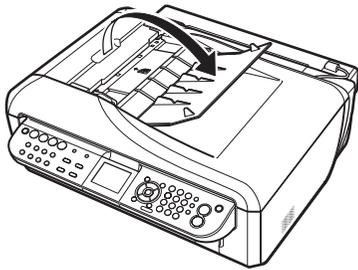
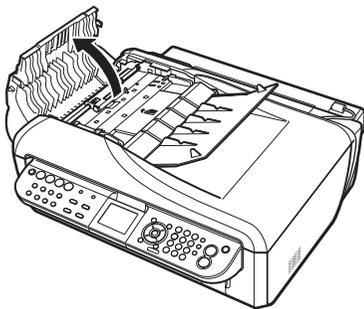
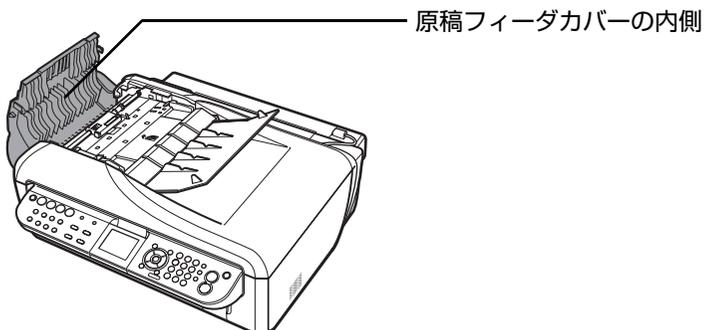
原稿台ガラスの周辺部分を清掃する

重要
- 清掃する前に、電源を切り、電源プラグを抜いてください。
- ファクスの送受信中や未送信のファクスがメモリに保存されている場合は電源を切ることができません。
- 本機の電源を切るとファクスを受信することができません。
- 電源プラグを抜くと、メモリに保存されているファクスはすべて削除されます。電源プラグを抜くときは、必要なファクスを送信または印刷しておいてください。
- 原稿台カバーの裏側（白い部分）（B）のシートは傷がつきやすいので、やさしくふいてください。

きれいで柔らかく、糸くずの出ない布を用意してください。原稿台ガラス（A）、原稿台カバーの裏側（白い部分）（B）、ADF（自動原稿給紙装置）のガラス（C）、ADF（自動原稿給紙装置）の裏側（白い部分）（D）の汚れや、ほこりをやさしくふき取ります。とくにガラス面は、ふいたあとが残らないように十分ふき取ってください。

ADF（自動原稿給紙装置）を清掃する

重要

- 清掃する前に、電源を切り、電源プラグを抜いてください。
- ファクスの送受信中や未送信のファクスがメモリに保存されている場合は電源を切ることができません。
- 本機の電源を切るとファクスを受信することができません。
- 電源プラグを抜くと、メモリに保存されているファクスはすべて削除されます。電源プラグを抜くときは、必要なファクスを送信または印刷しておいてください。

1 原稿トレイを開ける

2 原稿フィーダカバーを開ける

3 柔らかく清潔なきめの細かい（糸くずの出ない）布で、原稿フィーダカバーの内側から紙の粉をふき取る

4 ふき終わったら、カチッと音がするまで、原稿フィーダカバーを押して、閉じる

5 原稿トレイを閉じる

給紙ローラクリーニングを行う

後トレイまたはカセットから用紙がうまく送られないときは、給紙ローラのクリーニングを行ってください。給紙ローラのクリーニングは給紙ローラが磨耗しますので、必要な場合のみ行ってください。

重要
- ファクスの送受信中や未送信のファクスがメモリに保存されている場合は電源を切ることができません。
- 本機の電源を切るとファクスを受信することができません。
- 電源プラグを抜くと、メモリに保存されているファクスはすべて削除されます。電源プラグを抜くときは、必要なファクスを送信または印刷しておいてください。

1 本機の電源が入っていることを確認し、本機にセットされている用紙をすべて取り除く

2 給紙ローラを清掃する

❶ メニューボタンを押します。

❷ ◀▶ ボタンで［メンテナンス／各設定］を選び、OK ボタンを押します。
メンテナンス／各設定画面が表示されます。

❸ ◀▶ ボタンで［メンテナンス］を選び、OK ボタンを押します。
メンテナンス画面が表示されます。

❹ ▲▼ ボタンで［給紙ローラクリーニング］を選び、OK ボタンを押します。
確認画面が表示されます。

❺ ▲▼ ボタンで［はい］を選び、OK ボタンを押します。

❻ ▲▼ ボタンで［後トレイ］または［カセット］を選び、OK ボタンを押します。
給紙ローラがクリーニングを開始します。

3 手順 2-❹ から ❻ の操作を 2 回繰り返す

4 排紙トレイを開いてから、補助トレイを開く

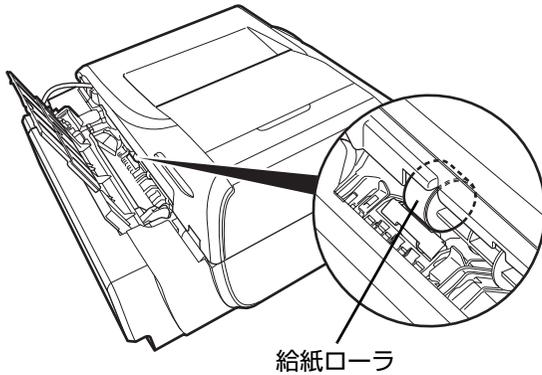
❶ 排紙トレイオープンボタンを押して、排紙トレイを開きます。

❷ 補助トレイを開きます。

5 給紙ローラの回転がとまったことを確認し、クリーニングを行った給紙箇所（後トレイまたはカセット）に A4 サイズの普通紙を 3 枚、縦にセットする

6 手順 2-❹ から ❻ の操作を 3 回繰り返す

給紙ローラクリーニングが実行され、用紙が排出されます。

後トレイのクリーニングで改善が見られない場合は、湿らせた綿棒などを使って後トレイ内右側にある給紙ローラを回しながらふいてください。給紙ローラは指で触らず、綿棒を使って回してください。

上記の操作を行っても改善されない場合は、お客様相談センターまたは修理受付窓口に修理をご依頼ください。⇒ P.67

インクふき取りクリーニングを行う

本機内部の汚れをとります。本機内部が汚れていると、印刷した用紙が汚れる場合がありますので、定期的に行うことをお勧めします。

重要

- インクふき取りクリーニングは、後トレイに用紙をセットして行います。
- インクふき取りクリーニング中はほかの操作をしないでください。

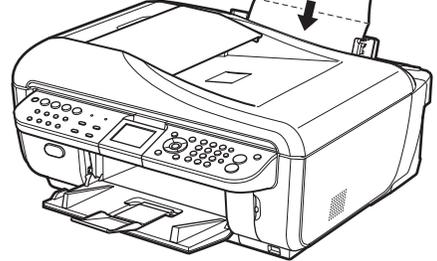
1 本機の電源が入っていることを確認し、後トレイにセットされている用紙を取り除く

2 排紙トレイを開いてから、補助トレイを開く

❶ 排紙トレイオープンボタンを押して、排紙トレイを開きます。

❷ 補助トレイを開きます。

3 A4 サイズの用紙を横半分に折ってから、開く

4 開いた面が上になるように、後トレイに 1 枚だけセットする

5 インクふき取りクリーニングを行う

❶ メニューボタンを押します。

❷ ◀▶ ボタンで［メンテナンス／各設定］を選び、OK ボタンを押します。
メンテナンス／各設定画面が表示されます。

❸ ◀▶ ボタンで［メンテナンス］を選び、OK ボタンを押します。
メンテナンス画面が表示されます。

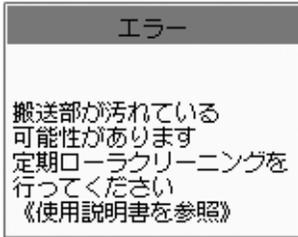
❹ ▲▼ ボタンで［インクふき取り］を選び、OK ボタンを押します。
確認画面が表示されます。

❺ ▲▼ ボタンで［はい］を選び、OK ボタンを押します。
インクふき取りクリーニングが実行され、用紙が排出されます。
排出された用紙の山折り部分を確認し、インクが付いている場合は再度クリーニングを行います。
再度クリーニングを行ってもインクが付くときは、本機内部の突起が汚れている場合があります。手順にしたがって清掃してください。⇒ P.25

再度インクふき取りクリーニングを行う場合は、新しい用紙をご使用ください。

搬送ローラの定期ローラクリーニングを行う

以下のメッセージ画面が表示された場合は、なるべく早く搬送ローラのクリーニングを行ってください。

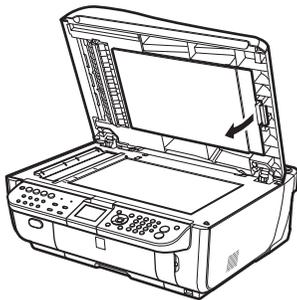
メッセージ画面が表示されるまでは、定期ローラクリーニングを行う必要はありません。

搬送ローラの清掃を知らせるメッセージが表示された後も印刷は行えますが、搬送ローラが汚れていると、印刷した用紙が汚れたり、印刷結果に問題が出る場合があります。なるべく早く定期ローラクリーニングを行うことをお勧めします。

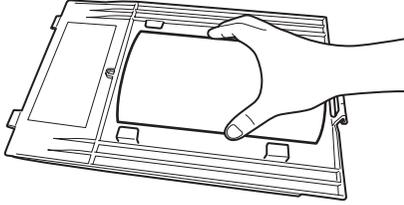
■ クリーニングシートの収納と取り出し

クリーニングシートは、本機に５枚付属しています。

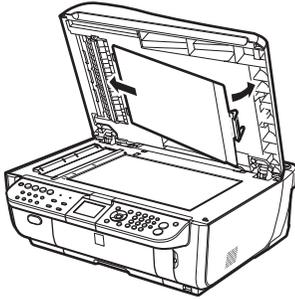
このクリーニングシートは、本機の原稿台カバーの裏に収納しておくことができます。

クリーニングシートがなくなった場合は、お客様相談センターにお問い合わせください。⇒ P.67

1 原稿台カバーを開き、クリーニングシートホルダを取り外す

2 クリーニングシートの収納／取り出しを行う

❶ クリーニングシートの収納／取り出しを行います。

参考

- 本機には 5 枚のクリーニングシートが付属しています。
- 使用しないクリーニングシートは、シートの入っていたパッケージに戻し、密封して収納してください。

❷ クリーニングシートホルダを取り付けます。

■ 定期ローラクリーニングを行う

重要

- 定期ローラクリーニングは、後トレイから専用のクリーニングシートを給紙して行います。
- 定期ローラクリーニング中はほかの操作をしないでください。

1 本機の電源が入っていることを確認し、後トレイにセットされている用紙を取り除く

2 クリーニングシートを用意する

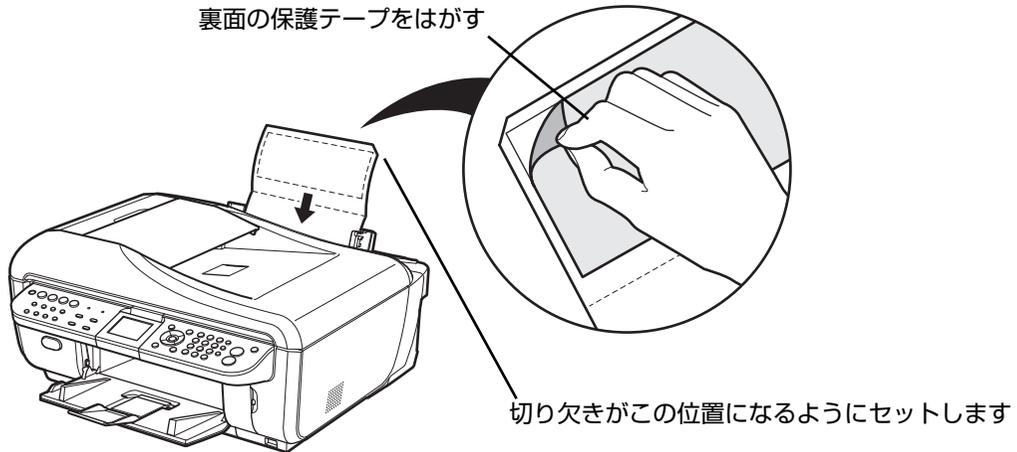
「クリーニングシートの収納と取り出し」（P.23）を参照し、クリーニングシートを 1 枚取り出します。

3 排紙トレイを開いてから、補助トレイを開く

❶ 排紙トレイオープンボタンを押して、排紙トレイを開きます。

❷ 補助トレイを開きます。

排紙トレイ上に印刷した用紙がある場合は取り除いてください。

4 クリーニングシートの保護テープをはがし、粘着面が下になるように後トレイにセットする

5 定期ローラクリーニングを行う

❶ メニューボタンを押します。

❷ ◀▶ ボタンで［メンテナンス／各設定］ を選び、OK ボタンを押します。
メンテナンス／各設定画面が表示されます。

❸ ◀▶ ボタンで［メンテナンス］を選び、OK ボタンを押します。
メンテナンス画面が表示されます。

❹ ▲▼ ボタンで［定期ローラクリーニング］を選び、OK ボタンを押します。
確認画面が表示されます。

❺ ▲▼ ボタンで［はい］を選び、OK ボタンを押します。
定期ローラクリーニングが実行され、用紙が排出されます。

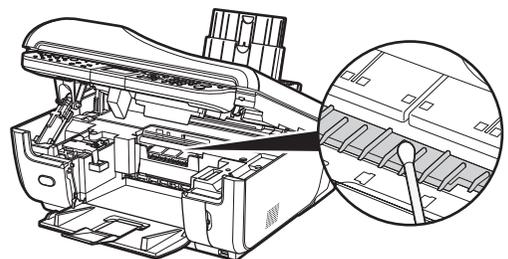
重要

使用済みのクリーニングシートはすぐに捨ててください。排出されたクリーニングシートには、汚れが付着していますので衣服や周囲を汚さないよう、取り扱いには十分に注意してください。

本機内部の汚れを清掃する

重要

- 清掃する前に、電源を切り、電源プラグを抜いてください。
- ファクスの送受信中や未送信のファクスがメモリに保存されている場合は電源を切ることができません。
- 本機の電源を切るとファクスを受信することができません。
- 電源プラグを抜くと、メモリに保存されているファクスはすべて削除されます。電源プラグを抜くときは、必要なファクスを送信または印刷しておいてください。

本体内部にインクが付着して汚れている場合は、綿棒などを使ってインク汚れを丁寧にふき取ってください。

本機の設定を変更する

ここでは、コピーフチはみ出し量を設定する操作を例に、各設定画面の設定変更の手順について説明します。

1 本機の電源が入っていることを確認し、メニューボタンを押す

2 各設定を選ぶ

❶ ◀▶ ボタンで［メンテナンス／各設定］を選び、OK ボタンを押します。
メンテナンス／各設定画面が表示されます。

❷ ◀▶ ボタンで［各設定］を選び、OK ボタンを押します。
各設定画面が表示されます。

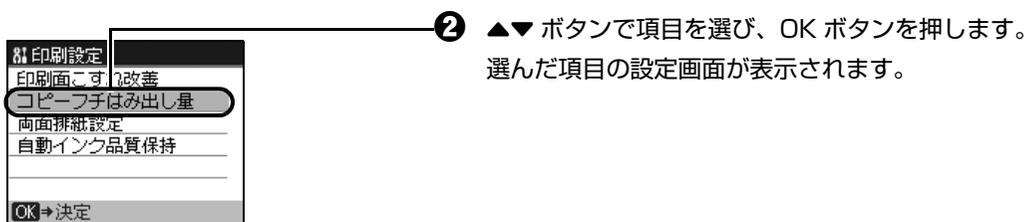
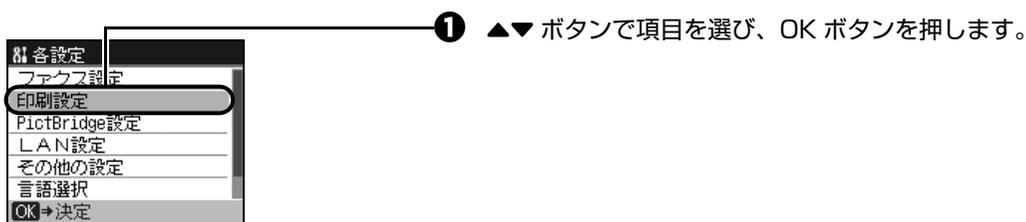
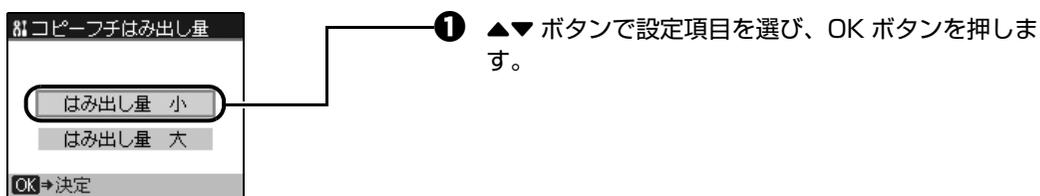
3 設定画面を表示する

❶ ▲▼ ボタンで項目を選び、OK ボタンを押します。

❷ ▲▼ ボタンで項目を選び、OK ボタンを押します。
選んだ項目の設定画面が表示されます。

4 設定を変更する

❶ ▲▼ ボタンで設定項目を選び、OK ボタンを押します。

本機の設定について

ファクス設定

設定項目については、『操作ガイド（ファクス操作編）』を参照してください。

印刷設定

■ 印刷面こすれ改善

印刷面がこすれてしまった場合のみ設定します。

画質が低下する場合があるので、印刷終了後は［しない］に戻してください。

■ コピーフチはみ出し量

フチなし全面印刷のとき、はみ出し量を設定します。

コピーモードを選んだときのみ、設定が有効になります。

フチなし全面印刷をしてもフチありで印刷される場合は、［はみ出し量 大］に設定すると改善される場合があります。

■ 両面排紙設定

両面原稿の排紙方法を設定します。

［ページ順に排紙］：同じページ順で原稿が排紙されます。

［スピード優先－裏表順］：スピードを優先するため、裏表の順で原稿が排紙されます。

■ 自動インク品質保持

品質を保持するために定期的にインクをかき混ぜるかどうかを設定します。

［する］：定期的に自動でインクをかき混ぜる動作を行います。

［しない］：定期的に自動でインクをかき混ぜる動作を行いません。

通常は「する」を設定してください。「しない」を選んだときは、『ユーザーズガイド』（電子マニュアル）の「手動でインク品質保持を行う」を参照して、定期的に（週 1 回ぐらいの間隔で）インクをかき混ぜてください。

PictBridge 設定

詳しくは、『操作ガイド（本体操作編）』の「PictBridge 対応機器から印刷する」の「PictBridge の印刷設定について」を参照してください。

LAN 設定

■ LAN 設定リセット

本機のネットワーク設定情報を初期化します。

初期化を行うとパソコンとのネットワーク接続情報がすべて削除され、印刷やスキャンができなくなる場合があります。再度、ネットワーク接続でご使用になる場合は、『ネットワークセットアップガイド』を参照してセットアップを行ってください。初期化を行う際には、十分注意してください。

Canon IJ Network Tool で初期化する場合は、『ユーザーズガイド』（電子マニュアル）の「Canon IJ Network Tool でネットワーク接続情報を初期化する」を参照してください。

■ LAN 設定情報表示

本機のネットワーク設定情報を液晶モニターに表示します。

以下のような設定情報が表示されます。

表示される項目名	設定内容（IPv4 の場合）	設定内容（IPv6 の場合）
接続状態	有効／無効	有効／無効
IP アドレス	XXX. XXX. XXX. XXX	XXXX : XXXX : XXXX : XXXX : XXXX : XXXX : XXXX : XXXX
サブネット マスク	XXX. XXX. XXX. XXX	−
サブネットプレフィックス長	−	XXX
デフォルトゲートウェイ	XXX. XXX. XXX. XXX	XXXX : XXXX : XXXX : XXXX : XXXX : XXXX : XXXX : XXXX
MAC アドレス	XX : XX : XX : XX : XX : XX	XX : XX : XX : XX : XX : XX
MAC アドレス制限	ON/OFF	ON/OFF
IPsec	−	有効／無効
セキュリティ方法	−	ESP ／ ESP & AH ／ AH
事前共有キー	−	XXXXXXXXXXXXXXXX*

（“X” は0～9、A ～ F の英数字を示す）

* 事前共有キーは最大 16 文字（0～9、A ～ Z、a ～ z の英数字）まで入力できます。

■ IPv4/IPv6 設定

IP バージョン（IPv4 または IPv6）を設定します。通常は IPv4 設定でご使用いただくことをお勧めします。

■ WSD 設定

Windows Vista がサポートするネットワークプロトコルの設定（有効／無効）を切り替えます。

本設定を有効にした場合、Windows Vista のネットワーク エクスプローラにプリンタ アイコンが表示されます。

その他の設定

カード書き込み状態

パソコンからメモリーカードに書き込みができるようにするかを選びます。

重要

- この設定は、メモリーカードを抜いてから行ってください。詳しくは、『操作ガイド（本体操作編）』の「カードスロットをパソコンのドライブに設定する」を参照してください。
- ［USB から可能］または［LAN から可能］に設定した場合は、本機だけでメモリーカードからの印刷を行うことはできません。メモリーカード専用ドライブの操作を終了後、必ず同様の操作で［書き込み禁止］に戻してください。また、本機の電源を切った場合も［USB から可能］または［LAN から可能］は解除され、次に電源を入れたときには［書き込み禁止］に設定が戻ります。

音量調整

音量を調整します。

［キータッチ音量設定］：操作パネルのボタンを押したときに出る音の音量を調整します。

［アラーム音量設定］：エラー警告音の音量を調整します。

コントラスト調整

液晶モニターの表示コントラストを調整します。

スライドショー設定

スライドショーで表示する写真の画質を設定します。

［画質 標準］に設定すると約 5 秒間隔で表示され、［画質 きれい］に設定した場合は、画像の解像度により次の画像表示までの時間が異なります。

サイレント設定

夜間など、本機の動作音が気になるときに、本機で設定します。

以下のときの動作音をおさえることができます。

- コピーするとき
- メモリーカード印刷をするとき
- PictBridge 対応機器から印刷するとき
- 受信したファックスを印刷するとき

重要

- サイレント設定を［しない］にしたときに比べ、印刷速度が低下する場合があります。
- 給紙方法や印刷品質の設定によっては、効果が少ない場合があります。
  また、準備動作時の音などは、通常の音と変わりません。

スキャンするときやパソコンから印刷するときの動作音をおさえるには、パソコンで設定します。

スキャンするとき⇒『スキャンガイド』（電子マニュアル）

パソコンから印刷するとき⇒『PC プリントガイド』（電子マニュアル）

キーリピート

部数やズーム値を入力するときに、▲▼◀▶ ボタンの長押しで数値がはやく増えたり減ったりできる機能を使用する／しないの設定を行います。

言語選択

液晶モニターに表示する言語を変更します。

設定リセット

本機で設定した値を、ご購入時の設定に戻すことができます（使用状況により、一部のデータはリセットされないことがあります）。

[電話番号登録のみ]：登録した電話番号の設定のみご購入時の設定に戻します。

[設定値のみ]：用紙サイズや用紙の種類、各設定の項目など、電話番号以外の設定をご購入時の設定に戻します。

[両方リセット]：電話番号と設定値の両方をご購入時の設定に戻します。

困ったときには

本機を使用中にトラブルが発生したときの対処方法について説明します。

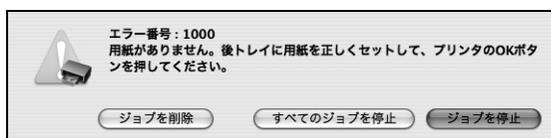
ここでは本機の操作でトラブルに対処する方法を中心に説明します。パソコンで対処する方法については、『ユーザーズガイド』（電子マニュアル）の「困ったときには」もあわせて参照してください。『ユーザーズガイド』（電子マニュアル）の見かたについては、『操作ガイド（本体操作編）』の「取扱説明書について」の「Step 4 電子マニュアル（取扱説明書）」を参照してください。

- 液晶モニターにエラーメッセージが表示されている⇒ P.32
- 液晶表示が見えない／見えにくい⇒ P.36
- 日本語以外の言語が表示されている⇒ P.37
- MP ドライバがインストールできない⇒ P.37
- パソコンとの接続がうまくいかない⇒ P.39
- 印刷結果に満足できない⇒ P.40
- コピーの結果に満足できない⇒ P.43
- 印刷が始まらない⇒ P.44
- 動作はするがインクが出ない⇒ P.44
- 用紙がうまく送られない⇒ P.45
- 用紙がつまる⇒ P.46
- ADF（自動原稿給紙装置）に原稿がつまる⇒ P.50
- 本機を使用していないのに動作音がする⇒ P.53
- パソコンの画面にメッセージが表示されている⇒ P.54
- PictBridge 対応機器にエラーメッセージが表示されている⇒ P.57
- フォトナビシートからうまく印刷できない⇒ P.58
- メモリーカードが取り出せない⇒ P.58
- スキャンがうまくできない⇒ P.59
- ファクスを受信できない／ファクスを送信できない／電話がつながらない⇒ P.59

エラーが発生したときは

印刷中に用紙がなくなったり、紙づまりなどのトラブルが発生すると、自動的にトラブルの対処方法を示すエラーメッセージが表示されます。この場合は、表示された対処方法にしたがって操作してください。

Windows

Macintosh

液晶モニターにエラーメッセージが表示されている

液晶モニターにエラー／確認メッセージが表示されたときには、以下の対処方法にしたがってください。

エラー／確認メッセージ	対処方法
インクがなくなった可能性があります（一旦印刷を中止し、） インクタンクの交換をお勧めします U044	インク（PGI-2PBK/Y/M/C、PGI-1BK）がなくなった可能性があります（インクランプが点滅しています）。 印刷途中の場合は、本機のストップ / リセットボタンを押して一旦印刷を中止し、その後インクタンクを交換してから再度印刷することをお勧めします。 印刷が終了していない場合は、インクタンクを取り付けたまま本機の OK ボタンを押すと、印刷を続けることができます。印刷が終了したらインクタンクを交換することをお勧めします。インク切れの状態で印刷を続けると、故障の原因となるおそれがあります。 参考 ● 複数のインクランプが点滅している場合は、「カラーまたはブラックインクの状態を確認する」（P.2）を参照して、インクタンクの状態を確認してください。 ● この状態で印刷するとファクスの内容が失われる可能性があるため、インクを交換するまでは、受信したファクスを印刷しないでメモリに保存します。メモリに保存したファクスは手動で印刷する必要があります。メモリに保存しないで、強制的に印刷するようにも設定できますが、インク切れにより、ファクスの内容が部分的に、もしくはすべて印刷されないことがあります。
クリアインクタンクが空になりました インクタンクの交換をお勧めします U045	クリアインクタンクが空になりました。 クリアインクタンクを新しいものに交換することをお勧めします。 印刷が終了していない場合は、本機の OK ボタンを押すと、印刷を続けることができます。印刷が終了したらクリアインクタンクを交換することをお勧めします。クリアインクがなくなると、普通紙の印刷ができなくなります。
プリントヘッドが装着されていません プリントヘッドを装着してください U051 ／ プリントヘッドの種類が違います 正しいプリントヘッドを装着してください U052	本機の電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。修理が必要な可能性があります。修理受付窓口へご連絡ください。 ⇒「お問い合わせの前に」（P.67）
正しい位置に取り付けられていないインクタンクがあります U072 ／ 下記のインクタンクが複数取り付けられています U071	● 正しい位置にセットされていないインクタンクがあります（インクランプが点滅しています）。 ● 同じ色のインクタンクが複数セットされています（インクランプが点滅しています）。 各色のインクタンクの取り付け位置に、正しいインクタンクがセットされていることを確認してください。 ⇒「インクタンクを交換する」（P.2）
下記のインクタンクが認識できません U043 U140 U150	● インクタンクが取り付けられていません。インクタンクを取り付けてください。 ⇒「インクタンクを交換する」（P.2） ● 本機がサポートできないインクタンクが取り付けられています（インクランプが消灯しています）。 正しいインクタンクを取り付けてください。 ⇒「インクタンクを交換する」（P.2） ● インクタンクにエラーが発生しました（インクランプが消灯しています）。 インクタンクを交換してください。 ⇒「インクタンクを交換する」（P.2）

エラー／確認メッセージ	対処方法
クリアインクがなくなりました インクタンクを交換してください U165/U166	クリアインクがなくなりました。 クリアインクタンクを新しいものに交換してください。 クリアインクタンクを交換しない場合は、本機のストップ / リセットボタンを押してエラーを解除してください。印刷は中止されます。 クリアインクがない状態で普通紙の印刷を続けると、印刷品位が著しく低下し、カセット給紙部に損傷を与えるおそれがあります。このため、新しいクリアインクタンクに交換するまでは普通紙の印刷はできません。 重要 本機の電源プラグを抜くなどして、強制的に電源が切れた場合、クリアインクがなくなっていると本機のストップ / リセットボタンを押してもエラーが解除されないことがあります。クリアインクタンクを新しいものに交換してください。 参考 新しいクリアインクタンクに交換するまでは、受信したファクスを印刷しないでメモリに保存します。メモリに保存したファクスは手動で印刷する必要があります。
インクがなくなりました （一旦印刷を中止し、） インクタンクを交換してください U171	インク（PGI-1BK）がなくなりました（インクランプが点滅しています）。 印刷途中の場合は、本機のストップ / リセットボタンを押して一旦印刷を中止し、その後インクタンクを交換してから再度印刷を開始してください。このまま印刷を続けると本機に損傷を与えるおそれがあります。 印刷を続けるにはインク残量検知機能を無効にする必要があります。本機のストップ / リセットボタンを 5 秒以上押してから離してください。この操作を行うと、インク残量検知機能を無効にしたことを履歴に残します。 インク切れの状態で印刷を続けたことが原因の故障についてはキヤノンは責任を負えない場合があります。 参考 ● インク残量検知機能を無効にすると、液晶モニターのインク残量画面でインクタンクがグレー色に表示されます。 ⇒「カラーまたはブラックインクの状態を確認する」（P.2） ● この状態で印刷するとファクスの内容が失われる可能性があるため、インクを交換するまでは、受信したファクスを印刷しないでメモリに保存します。メモリに保存したファクスは手動で印刷する必要があります。メモリに保存しないで、強制的に印刷するようにも設定できますが、インク切れにより、ファクスの内容が部分的に、もしくはすべて印刷されないことがあります。
インクなしを検知しました （一旦印刷を中止し、） インクタンクを交換してください U172	インク（PGI-2PBK/Y/M/C）なしを検知しました（インクランプが点滅しています）。 印刷途中の場合は、本機のストップ / リセットボタンを押して一旦印刷を中止し、その後インクタンクを交換してから再度印刷を開始してください。 インクが混ざるなどの印字不良を防ぐために、インクタンク内のインク残量が品質保持に必要な量を下回るとエラーを表示して印刷を停止する設計になっています。

エラー／確認メッセージ	対処方法
インクなしを検知しました (一旦印刷を中止し､) インクタンクを交換してください U181	インク（PGI-1BK）なしを検知しました（インクランプが点滅しています）。 一旦印刷を中止し、その後インクタンクを交換してから再度印刷を開始してください。 一度空になったインクタンクが取り付けられています。 インク切れの状態で印刷を続けると、本機に損傷を与えるおそれがあります。 印刷を続けるにはインク残量検知機能を無効にする必要があります。無効にする場合は、本機のストップ / リセットボタンを 5 秒以上押してから離してください。* * この操作を行うと、インク残量検知機能を無効にしたことを履歴に残します。印刷の続行またはインクの補充が原因の故障についてはキヤノンは責任を負いかねます。 参考 ● インク残量検知機能を無効にすると、液晶モニターのインク残量画面でインクタンクがグレー色に表示されます。 ⇒「カラーまたはブラックインクの状態を確認する」（P.2） ● この状態で印刷するとファクスの内容が失われる可能性があるため、インクを交換するまでは、受信したファクスを印刷しないでメモリに保存します。メモリに保存したファクスは手動で印刷する必要があります。メモリに保存しないで、強制的に印刷するようにも設定できますが、インク切れにより、ファクスの内容が部分的に、もしくはすべて印刷されないことがあります。
インクなしを検知しました (一旦印刷を中止し､) インクタンクを交換してください U182	インク（PGI-2PBK/Y/M/C）なしを検知しました（インクランプが点滅しています）。 一旦印刷を中止し、その後インクタンクを交換してから再度印刷を開始してください。印刷を再開する前に必ずインクタンクを交換してください。 一度空になったインクタンクが取り付けられています。 インク切れの状態で印刷を続けると、インクが混ざるなどの印字不良や、本機の故障の原因となるおそれがあります。 印刷を続けるにはインク残量検知機能を無効にする必要があります。無効にする場合は、本機のストップ / リセットボタンを 5 秒以上押してから離してください。* * この操作を行うと、インク残量検知機能を無効にしたことを履歴に残します。印刷の続行またはインクの補充が原因の故障についてはキヤノンは責任を負いかねます。 参考 ● インク残量検知機能を無効にすると、液晶モニターのインク残量画面でインクタンクがグレー色に表示されます。 ⇒「カラーまたはブラックインクの状態を確認する」（P.2） ● この状態で印刷するとファクスの内容が失われる可能性があるため、インクを交換するまでは、受信したファクスを印刷しないでメモリに保存します。メモリに保存したファクスは手動で印刷する必要があります。メモリに保存しないで、強制的に印刷するようにも設定できますが、インク切れにより、ファクスの内容が部分的に、もしくはすべて印刷されないことがあります。
写真データがありません	● セットしたメモリーカードに読み込める画像データが保存されていません。 ● 画像ファイル名（フォルダ名）に、全角文字（漢字、カナ等）があると、認識できない場合があります。全角文字を半角英数字に変更してみてください。 ● パソコン上で編集／加工したデータは、必ずパソコンから印刷を行ってください。
カード書き込み状態が書き込み可能に設定されています カードを抜いて書き込み禁止に設定してから操作してください	カードスロットが書き込み可能（［USB から可能］または［LAN から可能］）になっています。 カードスロットが［USB から可能］または［LAN から可能］に設定されていると印刷できません。書き込みの操作を終了後、［書き込み禁止］に戻してください。

困ったときには

エラー／確認メッセージ	対処方法
インク吸収体が満杯に近づきました OK ボタンで継続できますが早めに修理受付窓口に連絡してください	インク吸収体が満杯に近づいています。 本機は、クリーニングなどで使用したインクが、インク吸収体に吸収されます。 この状態になった場合、本機の OK ボタンを押すと、エラーを解除して印刷が再開できます。満杯になると、印刷できなくなり、インク吸収体の交換が必要になります。お早めにお客様相談センターまたは修理受付窓口にご連絡ください。お客様ご自身によるインク吸収体の交換はできません。 ⇒「お問い合わせの前に」（P.67）
インク吸収体の交換が必要です お客様相談センターまたは修理受付窓口にご連絡ください	インク吸収体が満杯になりました。 本機は、クリーニングなどで使用したインクが、インク吸収体に吸収されます。 この状態になった場合、交換が必要です。お早めにお客様相談センターまたは修理受付窓口にご連絡ください。お客様ご自身によるインク吸収体の交換はできません。 ⇒「お問い合わせの前に」（P.67）
自動ヘッド位置調整に失敗しました OK ボタンを押して操作をやり直してください≪使用説明書を参照≫	● ノズルが目づまりしています。 本機の OK ボタンを押してエラーを解除し、ノズルチェックパターンを印刷してプリントヘッドの状態を確認してください。 ⇒「ノズルチェックパターンを印刷する」（P.13） ⇒「印刷されない／印刷がかすれる／違う色になる／罫線がずれる」（P.41） ● カセットに A4 サイズの普通紙以外の用紙がセットされています。 本機の OK ボタンを押してエラーを解除し、カセットに A4 サイズの普通紙を 4 枚セットしてください。 自動でヘッド位置調整を行う場合は、必ずカセットに用紙をセットしてください。 ● 本機の排紙口内に強い光が当たっています。 本機の OK ボタンを押してエラーを解除し、排紙口内に光が当たらないように調整してください。 上記の対策をとったあと、再度ヘッド位置調整を行ってもエラーが解決されないときには、本機の OK ボタンを押してエラーを解除したあと、手動でヘッド位置調整を行ってください。手動ヘッド位置調整については、『ユーザーズガイド』（電子マニュアル）の「手動でプリントヘッド位置を調整する」を参照してください。
搬送部が汚れている可能性があります 定期ローラクリーニングを行ってください 《使用説明書を参照》	搬送部のクリーニングの時期になると、このメッセージが印刷前に表示されます。 本機の OK ボタンを押すと、印刷を開始できます。 印刷が終了したら定期ローラクリーニングを行うことをお勧めします。定期ローラクリーニングを行わないと、印刷品質に影響が出るおそれがあります。 ⇒「搬送ローラの定期ローラクリーニングを行う」（P.23）
****** プリンタトラブルが発生しました**	「＊＊＊＊」部分は半角英数字で表示され、状況により表示が異なります。 ●「5100/5110」と表示された場合 **1 本機の電源を切り、スキャナユニット（プリンタカバー）を開いて異物がないかを確認します。** **2 プリントヘッドホルダ（インクタンクを収めている部分）が動くようなら、手でゆっくり右側に寄せてホームポジションに移動させます（インクタンクが浮いていないことも確認します）。** **3 本機の電源を入れ直します。** それでも回復しない場合は、「それ以外の表示の場合」の対処方法をご確認ください。 ● それ以外の表示の場合 本機の電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。修理が必要な可能性があります。修理受付窓口へご連絡ください。 ⇒「お問い合わせの前に」（P.67）
スキャナが正常に動作できません	本機の電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。5 分以上たってから、本機の電源を入れ直してみてください。それでも回復しない場合は、お客様相談センターまたは修理受付窓口に修理をご依頼ください。 ⇒「お問い合わせの前に」（P.67）

エラー／確認メッセージ	対処方法
対応していない機器が接続されました 取り外してください	● 接続した状態での操作時間が長すぎたり、データ送信に時間がかかり過ぎる場合は、通信タイムエラーとなり印刷できないことがあります。接続している USB ケーブルを抜き、再度 USB ケーブルを接続してください。 PictBridge 対応機器から印刷する場合、ご使用のカメラの機種により、接続する前に PictBridge 対応機器で印刷するモードに切り替える必要があります。また接続後、手動で電源を入れたり、再生モードにする必要があります。ご使用の機器に付属の取扱説明書を参照のうえ、接続前に必要な操作を行ってください。 それでもエラーが解決されないときは、ほかの写真を選んで印刷できるかどうかを確認してください。 ● カメラ接続部に接続している機器を確認してください。本機と接続して直接印刷できるのは、PictBridge 対応機器だけです。 また、USB ハブを使用して PictBridge 対応機器を接続している場合は、USB ハブを取り外し、本機と直接接続してください。
対応していない USB ハブが接続されました 取り外してください	USB ハブを使用して PictBridge 対応機器を接続している場合は、USB ハブを取り外し、本機と直接接続してください。
ADF に原稿が残っています ADF の原稿を確認して OK ボタンを押し、操作をやり直してください	原稿が ADF（自動原稿給紙装置）の中でつまっています。ADF（自動原稿給紙装置）の中の原稿を取り除き、OK ボタンを押してください。エラーを解除したら操作をやり直してください。 ⇒「ADF（自動原稿給紙装置）に原稿がつまる」（P.50）
原稿サイズが長過ぎます ADF の原稿を確認して OK ボタンを押し、操作をやり直してください	原稿が長すぎるか、ADF（自動原稿給紙装置）の中に原稿がつまっています。ADF（自動原稿給紙装置）の中の原稿を取り除き、OK ボタンを押してください。エラーを解除したら原稿が適切か確認して操作をやり直してください。 ⇒『操作ガイド（本体操作編）』の「用紙をセットする」 ⇒「ADF（自動原稿給紙装置）に原稿がつまる」（P.50）
原稿サイズが両面読み取りに適していません OK ボタンを押すと操作を中止して原稿を排出します	両面読み取りは A4 またはレターサイズのみ対応しています。OK ボタンを押して原稿を排出後、片面ずつ読み込んでください。
この用紙は両面印刷に対応していません 用紙を取り除き OK ボタンを押してください	プリンタドライバで設定されている用紙サイズが、自動両面印刷に対応していません。 A4、B5、A5、またはレターサイズの用紙にセットし直して、本機の OK ボタンを押してください。 用紙サイズの設定が、自動両面印刷に対応した用紙のサイズに合っているか確認してください。

液晶表示が見えない／見えにくい

原因	対処方法
電源が入っていない／ 液晶モニターが自動消灯した	● 操作パネルのランプがすべて消灯している場合 電源プラグを接続し、電源ボタンを押すと、電源が入り、液晶モニターにメッセージが表示されます。 ● いずれかのモードボタン（コピーボタンなど）が点灯している場合 電源ボタン以外の操作パネルのボタンを押してください。 ⇒『操作ガイド（本体操作編）』の「電源を切る」の「液晶モニターの自動消灯」
液晶モニターの表示が薄い	液晶モニターの表示コントラストの調整を行ってください。 ⇒「本機の設定を変更する」（P.26）

日本語以外の言語が表示されている

原因	対処方法
誤って日本語以外の言語に設定してしまった	以下の操作にしたがって、日本語設定に戻してください。 **1 コピーボタンを押し、5 秒以上待ってからメニューボタンを押す** **2 ▶ ボタンを 2 回押し、 を選び、OK ボタンを押す** **3 ▶ ボタンを 1 回押し、 を選び、OK ボタンを押す** **4 ▼ ボタンを 5 回押し、OK ボタンを押す** **5 ▲▼ ボタンで［日本語］を選び、OK ボタンを押す**

MP ドライバがインストールできない

原因	対処方法
Windows **インストールの途中で先の画面に進めなくなった**	［プリンタの接続］画面から先に進めなくなった場合は、本機の USB ケーブル接続部とパソコンが USB ケーブルでしっかり接続されていることを確認し、次の操作にしたがってインストールをやり直してください。 Windows Vista をご使用の場合、パソコンの画面に、［プリンタを認識していません。接続を確認してください。］というメッセージが表示されることがあります。その場合は、しばらくお待ちください。 しばらく待っても先に進めない場合は、次の操作にしたがってインストールをやり直してください。 **1［キャンセル］ボタンをクリックする** **2［インストール失敗］画面で［もう一度］ボタンをクリックする** **3 表示された画面で［戻る］ボタンをクリックする** **4［PIXUS XXX］画面（「XXX」は機種名）で［終了］ボタンをクリックし、CD-ROM を取り出す** **5 本機の電源を切る** **6 パソコンを再起動する** **7 ほかに起動しているアプリケーションソフトがないか確認する** **8『かんたんスタートガイド（USB 接続編）』または『ネットワークセットアップガイド』に記載されている手順にしたがい、MP ドライバをインストールする**

原因	対処方法
『セットアップ CD-ROM』が自動的に起動しない	Windows **1 ［スタート］メニューから［コンピュータ］を開く** Windows XP をご使用の場合は、［スタート］メニューから［マイ コンピュータ］を開きます。 Windows 2000 をご使用の場合は、デスクトップの［マイ コンピュータ］アイコンをダブルクリックします。 **2 開いたウィンドウにある CD-ROM アイコン をダブルクリックする** セットアップ CD-ROM の内容が表示された場合は、［MSETUP4.EXE］をダブルクリックしてください。 Macintosh **1 画面上に表示された CD-ROM のアイコン をダブルクリックする** 参考 ［CD-ROM］のアイコンが表示されない場合は、次のことを試してください。 ● セットアップ CD-ROM をパソコンから取り出して、再度セットする。 ● パソコンを再起動する。 それでも CD-ROM のアイコンが表示されない場合は、パソコンでほかの CD-ROM を表示できるか確認してください。ほかの CD-ROM が表示できる場合は、『セットアップ CD-ROM』に異常があります。キヤノンお客様相談センターにお問い合わせください。 ⇒「お問い合わせの前に」（P.67）
手順どおりにインストールしていない	『かんたんスタートガイド（USB 接続編）』または『ネットワークセットアップガイド』に記載されている手順にしたがい、MP ドライバをインストールしてください。 MP ドライバが正しくインストールされなかった場合は、MP ドライバを削除し、パソコンを再起動します。そのあとに、MP ドライバを再インストールしてください。 ⇒『PC プリントガイド』（電子マニュアル） Windows 参考 Windows のエラーが原因でインストーラが強制終了した場合は、Windows が不安定になっている可能性があり、MP ドライバがインストールできなくなることがあります。パソコンを再起動して再インストールしてください。

パソコンとの接続がうまくいかない

■ 印刷・スキャン速度が遅い／ USB 2.0 Hi-Speed として動作しない

原因	対処方法
USB 2.0 Hi-Speed に対応していない環境で使用している	USB 2.0 Hi-Speed に対応していない環境では、USB 1.1 での接続となります。この場合、本機は正常に動作しますが、通信速度の違いから印刷速度が遅くなることがあります。 ご使用の環境が USB 2.0 Hi-Speed に対応しているか、次の点を確認してください。 ● パソコンの USB ポートが、USB 2.0 に対応しているか確認してください。 ● USB ケーブルと USB ハブが、USB 2.0 に対応しているか確認してください。 USB ケーブルは、必ず USB 2.0 認証ケーブルをご使用ください。また、長さ 3 m 以内のものをお勧めします。 ● ご使用のパソコンが、USB 2.0 に対応した状態になっているか確認してください。 最新のアップデートを入手して、インストールしてください。 ● USB 2.0 対応の USB ドライバが正しく動作しているか確認してください。USB 2.0 に対応した最新の USB 2.0 ドライバを入手して、再インストールしてください。 重要 上記の確認事項の操作方法につきましては、ご使用のパソコンメーカーまたは USB ケーブルメーカー、USB ハブメーカーにご確認ください。

■ Windows 「さらに高速で実行できるデバイス」などの警告文が画面に表示される

原因	対処方法
USB 2.0 Hi-Speed に対応していない環境に接続している	ご使用の環境が USB 2.0 Hi-Speed に対応していないことを示しています。「印刷・スキャン速度が遅い／ USB 2.0 Hi-Speed として動作しない」（P.39）を参照してください。

印刷結果に満足できない

白すじが入る、罫線がずれる、色むらがあるなど、思ったような印刷結果が得られないときは、まず用紙や印刷品質の設定を確認してください。

● [チェック 1] セットされている用紙のサイズや種類が、設定と合っていますか。

設定と異なるサイズや種類の用紙をセットしていると、正しい結果が得られません。写真やイラストを印刷したときにカラーの発色がよくないことがあります。

また、設定と異なる種類の用紙をセットしていると、印刷面がこすれる場合があります。

フチなし全面印刷を行う場合、セットした用紙と設定の組み合わせによっては、発色の差が発生する場合があります。

● [チェック 2] 適切な印刷品質を選んでいますか。

用紙の種類や印刷するデータに応じた印刷品質を選んでください。インクのにじみや色むらが気になる場合は、画質を優先する設定にして印刷してみてください。

※ PictBridge 対応機器から印刷する場合は、本機の操作パネルで印刷品質を設定してください。
PictBridge 対応機器からは印刷品質の設定はできません。

用紙や印刷品質の設定を確認する方法は、ご使用の機器によって異なります。

本機の操作で、コピー／メモリーカードからの印刷などをする場合	本機の操作パネル ⇒『操作ガイド（本体操作編）』の各機能のページ
PictBridge 対応機器から印刷する場合	PictBridge 対応機器または本機の操作パネル ⇒『操作ガイド（本体操作編）』の「デジタルカメラと直接つないで印刷してみよう」
パソコンから印刷する場合	プリンタドライバ ⇒『PC プリントガイド』（電子マニュアル）

● [チェック 3] それでも解決しない場合は、別の原因が考えられます。

以降の項目もあわせて確認してください。

⇒「印刷されない／印刷がかすれる／違う色になる／罫線がずれる」（P.41）
⇒「白いすじが入る」（P.41）
⇒「用紙が反る／インクがにじむ」（P.41）
⇒「印刷面がこすれる／用紙・はがきが汚れる」（P.42）
⇒「色むらや色すじがある」（P.43）

■ 印刷されない／印刷がかすれる／違う色になる／罫線がずれる

原因	対処方法
用紙の裏表を間違えている	片面にのみ印刷可能な用紙をご使用の場合は、後トレイには印刷可能な面を上にして、カセットには印刷可能な面を下にして用紙をセットしているか確認してください。 用紙の裏表を間違えると、かすれたり、正しく印刷されないことがあるので注意してください。 用紙の印刷面については、ご使用の用紙に付属の取扱説明書を参照してください。
インクがない	「液晶モニターにエラーメッセージが表示されている」（P.32）を参照してインクタンクの状態を確認し、状態に応じて対処してください。
用紙の給紙箇所が正しくない	後トレイには普通紙以外の用紙、カセットには普通紙をセットして印刷します。用紙の種類と給紙箇所が正しいか確認してください。 ⇒『操作ガイド（本体操作編）』の「用紙をセットする」
プリントヘッドが目づまりしている	「印刷にかすれやむらがあるときは」（P.12）を参照して、必要なお手入れの操作を行ってください。
プリントヘッドの位置がずれている	プリントヘッドの位置調整をしないで印刷を行うと、罫線がずれて印刷されることがあります。プリントヘッドを取り付けたあとは、必ず位置調整を行ってください。 「プリントヘッド位置を調整する」（P.17）を参照して、自動ヘッド位置調整を行ってください。それでも印刷結果が思わしくない場合は、『ユーザーズガイド』（電子マニュアル）の「手動でプリントヘッド位置を調整する」を参照して、手動ヘッド位置調整を行ってください。
インクの濃度にむらが発生し、印刷に最適な状態になっていない	インクタンクの中のインクが分離して、インクの濃度にむらが発生する場合があります。「印刷にかすれやむらがあるときは」（P.12）を参照し、プリントヘッドのクリーニングを行ってください。クリーニングを 2 回繰り返しても、改善されないときには、強力クリーニングを行ってください。 また、「本機の設定を変更する」（P.26）を参照して、自動インク品質保持の設定が［しない］になっていないか確認してください。インク品質保持は通常［する］にしてご使用ください。［しない］にしている場合は、『ユーザーズガイド』（電子マニュアル）の「手動でインク品質保持を行う」を参照して、定期的にインク品質保持を行ってください。インク品質保持を定期的に行わないと、印刷結果に影響が出る場合があります。

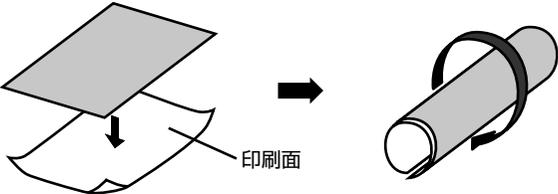
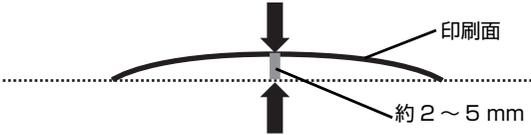
■ 白いすじが入る

原因	対処方法
プリントヘッドが目づまりしている	「印刷にかすれやむらがあるときは」（P.12）を参照して、必要なお手入れの操作を行ってください。

■ 用紙が反る／インクがにじむ

原因	対処方法
薄い用紙を使用している	写真や色の濃い絵など、インクを大量に使用する印刷をするときは、キヤノン写真用紙・光沢 ゴールドなどの写真専用紙に印刷することをお勧めします。 『操作ガイド（本体操作編）』の「用紙をセットする」の「印刷に適した用紙を選ぶ」を参照してください。
用紙の給紙箇所が正しくない	後トレイには普通紙以外の用紙、カセットには普通紙をセットして印刷します。用紙の種類と給紙箇所が正しいか確認してください。 ⇒『操作ガイド（本体操作編）』の「用紙をセットする」
高い濃度設定で画像を印刷している	画像などを高い濃度で印刷すると、インクを吸収しすぎて用紙が波打つことがあり、印刷面がこすれる原因となることがあります。 コピーをしている場合は、『操作ガイド（本体操作編）』の「コピーする」を参照して、濃度の設定を低くし、もう一度印刷してみてください。 パソコンをご使用の場合は、『ユーザーズガイド』（電子マニュアル）の「印刷結果に満足できない」を参照してください。

■ 印刷面がこすれる／用紙・はがきが汚れる

原因	対処方法
適切な用紙を使用していない	● 厚い用紙や反りのある用紙を使用していないか確認してください。 『操作ガイド（本体操作編）』の「用紙をセットする」の「用紙について」を参照し、印刷に適した用紙を確認してください。 反っている用紙を使用している場合は、「反りのある用紙を使用している」（P.42）を参照して、反りを直してください。 ● フチなし全面印刷を行っている場合は、用紙の上端および下端の印刷品質が低下する場合があります。ご使用の用紙がフチなし全面印刷のできる用紙か確認してください。 ⇒「印刷できる範囲」（P.64）
反りのある用紙を使用している	四隅や印刷面全体に反りのある用紙を使用した場合、用紙が汚れたり、うまく送られなかったりするおそれがあります。以下の手順で反りを修正してから使用してください。 **1 印刷面を上にし、表面が汚れたり傷つくことを防ぐために、印刷しない普通紙などを 1 枚重ねる** **2 下の図のように反りと逆方向に丸める** 印刷面 **3 印刷する用紙の反りが、約 2 ～ 5 mm 以内になっていることを確認する** 印刷面 約 2 ～ 5 mm 反りを修正した用紙は、1 枚ずつセットして印刷することをお勧めします。 参考 ご使用の用紙によっては、反りのない用紙を使用していても、用紙が汚れたり、うまく送られなかったりする場合があります。 その場合は、上記の手順にしたがって、印刷する前にあらかじめ用紙を反らせてから印刷してみてください。印刷の結果が改善される場合があります。
厚めの用紙を使用している	用紙のこすれを防止する設定にすると、プリントヘッドと紙の間隔が広くなります。用紙の種類を正しく設定していても印刷面がこすれる場合は、本機の操作パネルかプリンタドライバで用紙のこすれを防止する設定にしてください。* * 印刷後は用紙のこすれを防止する設定を解除してください。設定を解除しないと、次回以降の印刷でもこの設定が有効になります。 ● 本機の操作パネルで設定する場合 メニューボタンを押し、[メンテナンス／各設定]、[各設定]、[印刷設定] を順に選び、[印刷面こすれ改善] を [する] に設定してください。詳しくは、「本機の設定を変更する」（P.26）を参照してください。 ● プリンタドライバで設定する場合 『ユーザーズガイド』（電子マニュアル）の「印刷結果に満足できない」を参照してください。
印刷推奨領域を超えて印刷している	印刷推奨領域を超えて印刷すると、用紙の下端でインクがこすれることがあります。 アプリケーションソフトで原稿を作成し直してください。 印刷推奨領域については、「印刷できる範囲」（P.64）を参照してください。
給紙ローラが汚れている	給紙ローラをクリーニングしてください。給紙ローラのクリーニングは給紙ローラが磨耗しますので、必要な場合のみ行ってください。 ⇒「給紙ローラクリーニングを行う」（P.20）

原因	対処方法
本機内部が汚れている	両面印刷などを行うと、本機の内側にインクが付いて用紙が汚れる場合があります。 インクふき取りクリーニングを行って、本機内部をお手入れしてください。 ⇒「インクふき取りクリーニングを行う」（P.22） また、インクが乾燥するまでに時間がかかるため、内部のローラが汚れることがあります。パソコンをご使用の場合は、『ユーザーズガイド』（電子マニュアル）の「印刷結果に満足できない」の「印刷面がこすれる／用紙・はがきが汚れる」を参照し、「インクが乾燥するまでに時間がかかる」の手順にしたがってインク乾燥待ち時間を長く設定してみてください。 参考 内部の汚れを防ぐために、用紙サイズを正しく設定してください。
高い濃度設定で画像を印刷している	画像などを高い濃度で印刷すると、インクを吸収しすぎて用紙が波打つことがあり、印刷面がこすれる原因となることがあります。 コピーをしている場合は、『操作ガイド（本体操作編）』の「コピーする」を参照して、濃度の設定を低くし、もう一度印刷してみてください。 パソコンをご使用の場合は、『ユーザーズガイド』（電子マニュアル）の「印刷結果に満足できない」を参照してください。

■ 色むらや色すじがある

原因	対処方法
プリントヘッドの位置がずれている	「プリントヘッド位置を調整する」（P.17）を参照して、自動ヘッド位置調整を行ってください。それでも印刷結果が思わしくない場合は、『ユーザーズガイド』（電子マニュアル）の「手動でプリントヘッド位置を調整する」を参照して、手動ヘッド位置調整を行ってください。
プリントヘッドが目づまりしている	「印刷にかすれやむらがあるときは」（P.12）を参照して、必要なお手入れの操作を行ってください。
自動インク品質保持の設定が「しない」になっている	自動インク品質保持機能が「しない」になっていると、インクタンクの中のインクが分離して、インクの濃度にむらが発生する場合があります。「本機の設定を変更する」（P.26）を参照して、自動インク品質保持を「する」にしてください。 また、自動インク品質保持を「しない」にしている場合は、『ユーザーズガイド』（電子マニュアル）の「手動でインク品質保持を行う」を参照して、定期的にインク品質保持を行ってください。

コピーの結果に満足できない

原因	対処方法
原稿が正しくセットされていない	原稿が原稿台ガラスまたは ADF（自動原稿給紙装置）に正しくセットされているか確認してください。 『操作ガイド（本体操作編）』の「コピー／ファクス／スキャンする原稿をセットする」の「原稿をセットする」を参照してください。
原稿の裏表の向きが正しくセットされていない	原稿台ガラスにセットするときは、コピーする面を下にしてください。 ADF（自動原稿給紙装置）にセットするときは、コピーする面を上にしてください。
本機で印刷したものを原稿としてセットしている	本機で印刷したものを原稿としてコピーすると、きれいに印刷されないことがあります。デジタルカメラやメモリーカードから印刷し直すか、パソコンから印刷し直してください。
原稿台ガラス、原稿台カバーの裏側、ADF（自動原稿給紙装置）が汚れている	原稿台ガラス、原稿台カバーの裏側または ADF（自動原稿給紙装置）を清掃してください。 ⇒「清掃する」（P.18）

上記の対処を行ってもトラブルが解決されない場合は、「印刷結果に満足できない」（P.40）の項目もあわせて確認してください。

印刷が始まらない

原因	対処方法
インクがない	「液晶モニターにエラーメッセージが表示されている」（P.32）を参照してインクタンクの状態を確認し、状態に応じて対処してください。
インクタンクが正しい位置にセットされていない	スキャナユニット（プリンタカバー）を開け、インクランプの状態を確認してください。 インクがまだ十分にあるのにインクランプが赤く点滅している場合は、正しい位置にセットされていないインクタンクがあります。 各色のインクタンクの取り付け位置に、正しいインクタンクがセットされていることを確認してください。 ⇒「インクタンクを交換する」（P.2）
インクタンクがしっかりセットされていない	スキャナユニット（プリンタカバー）を開け、インクランプの状態を確認してください。 インクランプが消えている場合は、インクタンクのラベル上の PUSH 部分を「カチッ」という音がするまでしっかり押して、インクタンクをセットしてください。しっかりセットされると、インクランプが赤く点灯します。
不要な印刷ジョブがたまっている／パソコン側のトラブル	パソコンを再起動すると、トラブルが解消されることがあります。また、不要な印刷ジョブが残っている場合は、削除してください。 Windows **1 プリンタドライバの設定画面を開く** 『操作ガイド（本体操作編）』の「プリンタドライバの機能と開きかた」の「プリンタドライバの設定画面を表示する」を参照してください。 **2 ［ユーティリティ］シートの［プリンタ状態の確認］ボタンをクリックする** プリンタ状態の確認画面が表示されます。 **3 ［印刷待ち一覧を表示］ボタンをクリックする** **4 ［プリンタ］メニューから［すべてのドキュメントの取り消し］を選ぶ** アクセス権限によっては、選べないことがあります。 **5 確認メッセージが表示されたら、［はい］ボタンをクリックする** 印刷ジョブが削除されます。 Macintosh **1 Dock 内にあるプリンタのアイコンをクリックし、印刷中のジョブの一覧を表示する** **2 削除する文書をクリックし、 をクリックする** 印刷ジョブが削除されます。
本機の準備ができていない	操作パネルのランプが点灯していることを確認してください。 操作パネルのランプがすべて消灯しているときは、電源ボタンを押して電源を入れてください。コピーボタンが点滅している間は、本機が初期動作中です。点滅から点灯に変わるまでお待ちください。 参考 写真やグラフィックなど大容量のデータを印刷するときは、印刷が始まるまでに通常よりも時間がかかります。印刷が始まるまで、しばらくお待ちください。

動作はするがインクが出ない

原因	対処方法
プリントヘッドが目づまりしている	「印刷にかすれやむらがあるときは」（P.12）を参照して、必要なお手入れの操作を行ってください。
インクがない	「液晶モニターにエラーメッセージが表示されている」（P.32）を参照してインクタンクの状態を確認し、状態に応じて対処してください。

用紙がうまく送られない

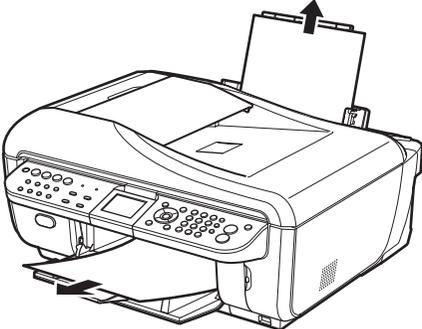
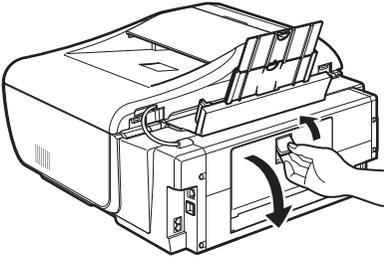
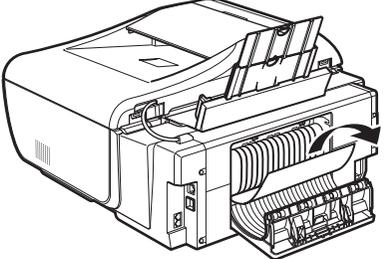
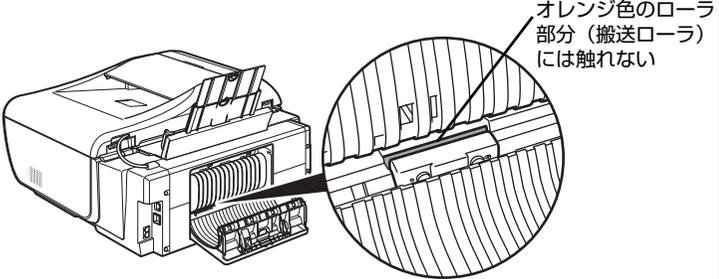
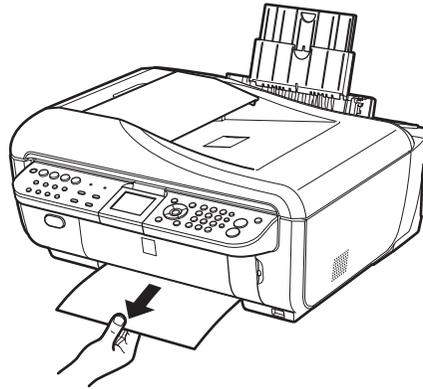
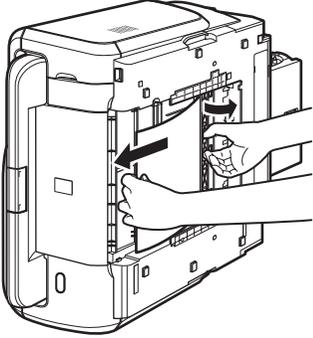
原因	対処方法
適切な用紙を使用していない	厚い用紙や反りのある用紙などを使用していないか確認してください。 『操作ガイド（本体操作編）』の「用紙をセットする」の「用紙について」を参照し、印刷に適した用紙を確認してください。 反っている用紙を使用している場合は、「反りのある用紙を使用している」（P.42）を参照して、反りを直してください。
給紙ローラが汚れている	用紙がうまく送られないときは、給紙ローラをクリーニングしてください。給紙ローラのクリーニングは給紙ローラが磨耗しますので、必要な場合のみ行ってください。 ⇒「給紙ローラクリーニングを行う」（P.20）
用紙のセット方法が正しくない	用紙をセットするときは、次のことに注意してください。 ● 複数枚の用紙をセットするときは、用紙の端をそろえてからセットすること ● 後トレイ、カセットともに印刷の向きに関わらず縦向きにセットすること ● 後トレイに用紙をセットする場合は、印刷面を上にし、カバーガイドを用紙の右端に合わせ、用紙ガイドを用紙の左端に軽く当てること ● カセットに用紙をセットする場合は、印刷面を下にし、用紙の右端をカセットの右側面にぴったりと突き当て、用紙ガイドを用紙の左端と下端に合わせること ● 用紙をセットする場合は、用紙ガイドの刻印を超えていないことを確認すること 用紙のセット方法については、『操作ガイド（本体操作編）』の「用紙をセットする」の「用紙のセット方法について」を参照してください。
用紙を多量にセットしている	最大積載枚数を超えないように用紙をセットしてください。ただし用紙の種類やご使用の環境（高温・多湿や低温・低湿の場合）によっては、正常に紙送りできない場合があります。 この場合は、セットする枚数を最大積載枚数の約半分に減らしてください。 用紙のセット方法については、『操作ガイド（本体操作編）』の「用紙をセットする」の「用紙のセット方法について」を参照してください。
後トレイまたはカセットに異物がある	後トレイまたはカセットに異物がないことを確認してください。
封筒が正しくセットされていない	封筒に印刷するときは、本機に縦置きでセットしてください。横置きにすると、正しく送られません。 ⇒『操作ガイド（本体操作編）』の「用紙をセットする」の「封筒のセット方法について」

用紙がつまる

重要

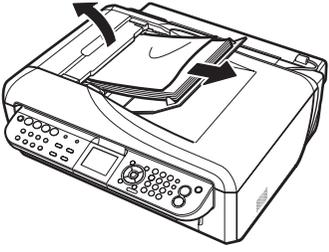
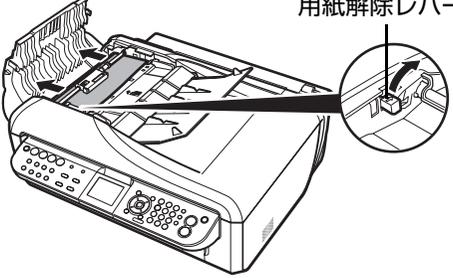
つまった用紙を取り除くため本機の電源を切る場合は、次のことに注意してください。

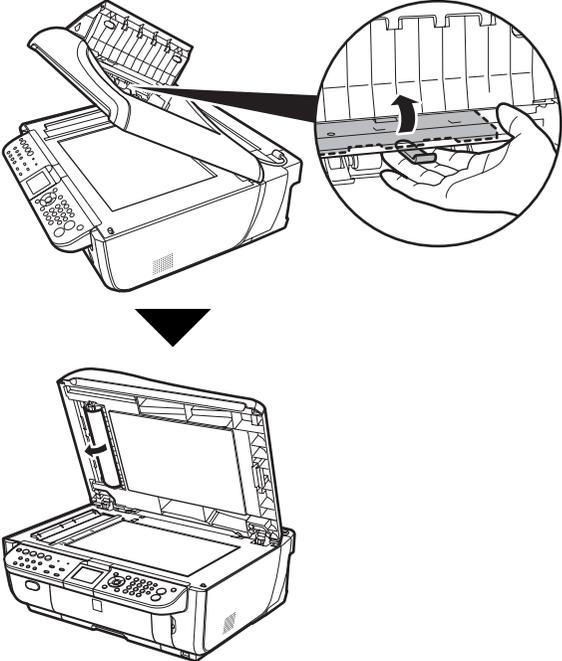
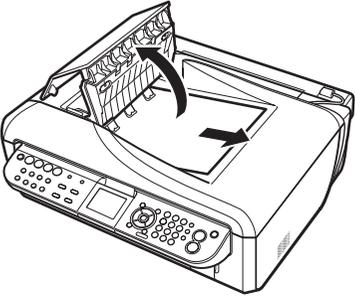
- パソコンから印刷している場合は、『操作ガイド（本体操作編）』の「パソコンから印刷する」を参照し、印刷を中止してから電源を切ってください。
- ファクス受信（代行受信）中は本機の電源を切ることができません。受信終了後に電源を切ってください。また、このとき電源プラグを抜かないでください。電源プラグを抜くと、メモリに保存されているファクスはすべて削除されてしまいます。

原因	対処方法
排紙口／後トレイで用紙がつまった	次の手順にしたがって用紙を取り除きます。 **1 排紙側または給紙側の引き出しやすいほうから用紙をゆっくり引っ張り、用紙を取り除く** ● 用紙が破れて本機内部に残った場合は、本機の電源を切り、スキャナユニット（プリンタカバー）を開けて取り除いてください。* * このとき、内部の部品には触れないようにしてください。 用紙を取り除いたら、スキャナユニット（プリンタカバー）を閉じたあと、電源を入れ直してください。 ● 用紙が引き抜けない場合は、本機の電源を切り、電源を入れ直してください。用紙が自動的に排出される場合があります。 **2 用紙をセットし直し、本機の OK ボタンを押す** 手順 1 で電源を入れ直した場合、本機に送信されていた印刷データは消去されますので、もう一度印刷の設定をしてください。 参考 ● 用紙のセット方法については、『操作ガイド（本体操作編）』の「用紙をセットする」を参照してください。 ● 用紙をセットし直すときは「用紙がうまく送られない」（P.45）を参照し、用紙が印刷に適しているか、セットのしかたが正しいか確認してください。 ● A5 サイズの用紙は文字中心の原稿の印刷に適しています。写真やグラフィックを含む原稿の印刷にはお勧めできません。用紙が反って排出不良の原因となることがあります。 用紙が引き抜けない場合や、紙片が取り除けない場合、また取り除いても用紙づまりエラーが解除されない場合には、お客様相談センターまたは修理受付窓口に修理をご依頼ください。 ⇒「お問い合わせの前に」（P.67）

原因	対処方法
横向きにセットした名刺サイズ用紙、カードサイズ用紙が本機内部でつまった	名刺サイズ用紙、カードサイズ用紙は横向きにはセットできません。 次の手順にしたがってつまった用紙を取り除きます。 **1 同じ用紙を 1 枚、後トレイに縦向きにセットする** 横向きにはセットしないでください。 **2 本機の電源を切る** **3 本機の電源を入れる** 用紙が給紙され、つまった用紙を押し出しながら排紙されます。 本機に送信されていた印刷データは消去されますので、もう一度印刷の設定をしてください。 用紙が取り除けない場合や、取り除いても用紙づまりエラーが解除されない場合には、お客様相談センターまたは修理受付窓口に修理をご依頼ください。 ⇒「お問い合わせの前に」（P.67）
本機内部で用紙がつまった（搬送ユニット）	次の手順にしたがって用紙を取り除きます。 **1 背面カバーを開ける** **2 用紙が見えている場合は、用紙をゆっくり引っ張る** 重要 背面カバーを開けた際は、搬送ローラと本機内部の部品には触れないでください。

原因	対処方法
	3 手順 2 で用紙を取り除けなかった場合は、背面カバーを開けたままカセットを取り出す **4 用紙をゆっくり引っ張る** 参考 用紙が引き抜けない場合は、背面カバーを閉じてから本機の電源を切り、電源を入れ直してください。用紙が自動的に排出される場合があります。 **5 背面カバーを閉じる** **6 カセットから用紙がはみ出している場合は、用紙をそろえてセットし直す** **7 カセットを本機にセットし直し、本機の OK ボタンを押す** 手順 4 で電源を入れ直した場合、本機に送信されていた印刷データは消去されますので、もう一度印刷の設定をしてください。 参考 用紙をセットし直すときは「用紙がうまく送られない」（P.45）を参照し、用紙が印刷に適しているか、セットのしかたが正しいか確認してください。 用紙が引き抜けない場合や、紙片が取り除けない場合、また取り除いても用紙づまりエラーが解除されない場合には、お客様相談センターまたは修理受付窓口に修理をご依頼ください。 ⇒「お問い合わせの前に」（P.67）

原因	対処方法
本機内部で用紙がつまった （両面搬送部）	次の手順にしたがって用紙を取り除きます。 **1 カセットを取り外す** 後トレイに用紙がセットされている場合は、用紙を取り除いて後トレイカバーを閉じてください。 **2 本機の電源を切り、背面カバーを開ける** **3 左側面を下にして、本機本体を立てる** 重要 本機を立てる際は、スキャナユニット（プリンタカバー）がしっかりと閉まっていることを確認し、本機が倒れないように注意してください。 **4 緑色のカバーを手前に開きながら用紙をゆっくり引っ張る** 参考 つまった用紙を取り除いたあとは、すみやかに本機を元の位置に戻してください。 **5 背面カバーを閉じる** **6 カセットを本機にセットし直し、本機の電源を入れる** 後トレイに用紙をセットしていた場合は、用紙をセットし直してください。 本機に送信されていた印刷データは消去されますので、もう一度印刷の設定をしてください。 参考 用紙をセットし直すときは「用紙がうまく送られない」（P.45）を参照し、用紙が印刷に適しているか、セットのしかたが正しいか確認してください。 用紙が引き抜けない場合や、紙片が取り除けない場合、また取り除いても用紙づまりエラーが解除されない場合には、お客様相談センターまたは修理受付窓口に修理をご依頼ください。 ⇒「お問い合わせの前に」（P.67）

ADF（自動原稿給紙装置）に原稿がつまる

つまった原稿を取り除くため本機の電源を切る場合は、次のことに注意してください。

- ファクス受信（代行受信）中は本機の電源を切ることができません。受信終了後に電源を切ってください。また、このとき電源プラグを抜かないでください。電源プラグを抜くと、メモリに保存されているファクスはすべて削除されてしまいます。

原因	対処方法
原稿の読み取り中にストップ / リセットボタンを押したため、原稿が ADF（自動原稿給紙装置）に残った	原稿の読み取り中にストップ / リセットボタンを押すと、液晶モニターに「ADF に原稿が残っています」というメッセージが表示されます。OK ボタンを押すと、ADF（自動原稿給紙装置）に残った原稿が自動的に排紙されます。
ADF（自動原稿給紙装置）で原稿がつまった（給紙側）	次の手順にしたがって原稿を取り除きます。 **1 印刷途中の場合は、ストップ / リセットボタンを押す** **2 本機の電源を切る** **3 複数ページの原稿がセットされているときは、つまっている原稿以外のすべての原稿を ADF（自動原稿給紙装置）から取り除き、原稿フィーダカバーを開ける** **4 用紙解除レバーを上げ、つまっている原稿をローラの下から原稿フィーダカバー側に取り出す** 用紙解除レバー **5 つまっている原稿を ADF（自動原稿給紙装置）から引き抜く** 原稿が引き抜きにくい場合は、「ADF（自動原稿給紙装置）で原稿がつまった（裏側）」（P.51）を行ってください。

原因	対処方法
	6 用紙解除レバーを下げ、原稿フィーダカバーを閉じ、本機の電源を入れる エラーを解除後、再度同じ原稿を読み込む場合は、最初の原稿から読み込み直してください。 原稿が引き抜けない場合や、紙片が取り除けない場合、また取り除いても原稿づまりエラーが解除されない場合には、お客様相談センターまたは修理受付窓口に修理をご依頼ください。⇒「お問い合わせの前に」（P.67） 参考 用紙の種類やご使用の環境（高温・多湿や低温・低湿の場合）によっては、正常に紙送りできない場合があります。 この場合は、セットする枚数を最大積載可能枚数の約半分に減らしてください。用紙のセット方法については、『操作ガイド（本体操作編）』の「用紙をセットする」の「用紙のセット方法について」を参照してください。 それでも原稿がつまる場合は原稿台ガラスをご使用ください。
ADF（自動原稿給紙装置）で原稿がつまった（裏側）	次の手順にしたがって原稿を取り除きます。 **1 印刷途中の場合は、ストップ / リセットボタンを押す** **2 本機の電源を切る** **3 複数ページの原稿がセットされているときは、つまっている原稿以外のすべての原稿を ADF（自動原稿給紙装置）から取り除く** **4 原稿排紙口を開く** **5 原稿台カバーを開ける**

原因	対処方法
	6 原稿排紙口に手を差し込み、給紙ローラの上部を指で押し上げて、原稿台カバーの裏側から原稿を引き抜く **7 原稿台カバーを閉じる** **8 原稿排紙口を閉じ、本機の電源を入れる** ● エラーを解除後、再度同じ原稿を読み込む場合は、最初の原稿から読み込み直してください。 原稿が引き抜けない場合や、紙片が取り除けない場合、また取り除いても原稿づまりエラーが解除されない場合には、お客様相談センターまたは修理受付窓口に修理をご依頼ください。⇒「お問い合わせの前に」(P.67)
ADF(自動原稿給紙装置)で原稿がつまった(排紙側)	図のように ADF(自動原稿給紙装置)の原稿排紙口を開け、つまっている原稿を引き抜いてください。 ● エラーを解除後、再度同じ原稿を読み込む場合は、最初の原稿から読み込み直してください。 原稿が引き抜けない場合や、紙片が取り除けない場合、また取り除いても原稿づまりエラーが解除されない場合には、お客様相談センターまたは修理受付窓口に修理をご依頼ください。⇒「お問い合わせの前に」(P.67)

本機を使用していないのに動作音がする

原因	対処方法
自動インク品質保持の動作中である	本機ではインクの品質を保つため、自動でインクをかき混ぜる動作が行われます（操作を行っていないときは、「インク品質保持を行っています」というメッセージが表示されます）。このとき、多少の振動や騒音が起こります。故障ではありませんので、しばらくお待ちください。 なお、深夜などで振動や騒音が気になる場合は、自動インク品質保持機能を「しない」に設定することもできます。（P.27） 重要 自動インク品質保持は通常「する」にしてご使用ください。「しない」にしている場合は、以下の手順で定期的にインク品質保持を行う必要があります。インク品質保持を定期的に行わないと、印刷結果に影響が出る場合があります。 **1 メニューボタンを押す** **2 ◀▶ ボタンで［メンテナンス／各設定］を選び、OK ボタンを押す** **3 ◀▶ ボタンで［メンテナンス］を選び、OK ボタンを押す** **4 ▲▼ ボタンで［インク品質保持］を選び、OK ボタンを押す** **5 ▲▼ ボタンで［はい］を選び、OK ボタンを押す** 約 10 秒～ 2 分間プリンタが振動し、インクをかき混ぜます。 本機の動作中は、スキャナユニット（プリンタカバー）を開けないでください。

パソコンの画面にメッセージが表示されている

■ Windows 「書き込みエラー／出力エラー」または「通信エラー」

原因	対処方法
本機の準備ができていない	操作パネルのランプが点灯していることを確認してください。 操作パネルのランプがすべて消灯しているときは、電源ボタンを押して電源を入れてください。コピーボタンが点滅している間は、本機が初期動作中です。点滅から点灯に変わるまでお待ちください。 エラーランプがオレンジ色に点灯しているときは、本機にエラーが起きている可能性があります。対処方法については、「液晶モニターにエラーメッセージが表示されている」（P.32）を参照してください。
本機とパソコンが正しく接続されていない	本機の USB ケーブル接続部とパソコンが USB ケーブルでしっかり接続されていることを確認してください。 ● USB ハブなどの中継器を使用している場合は、それらを外して本機とパソコンを直接接続してから印刷してみてください。正常に印刷される場合は、USB ハブなどの中継器に問題があります。取り外した機器の販売元にお問い合わせください。 ● USB ケーブルに不具合があることも考えられます。別の USB ケーブルに交換し、再度印刷してみてください。 LAN 接続で本機をご使用の場合は、LAN ケーブルでネットワーク接続がされていることを確認してください。また、ネットワークの設定が正しくされているか確認してください。 ⇒「LAN 設定情報表示」（P.28）
プリンタポートの設定と接続されているインターフェースが異なっている	プリンタポートの設定を確認してください。 ※ 以下の手順で、「XXX」はご使用の機種名を表します。 **1 管理者（Administrators グループのメンバー）として Windows にログオンする** **2 ［コントロール パネル］から［ハードウェアとサウンド］の［プリンタ］を選ぶ** Windows XP をご使用の場合は、［コントロール パネル］から［プリンタとその他のハードウェア］、［プリンタと FAX］の順に選びます。 Windows 2000 をご使用の場合は、［コントロール パネル］から［プリンタ］をダブルクリックします。 **3 ［Canon XXX Printer］アイコンを右クリックし、［プロパティ］を選ぶ** **4 ［ポート］タブをクリックし、［印刷するポート］で［プリンタ］の欄に［Canon XXX］と表示されている［USBnnn］（“n”は数字）が選ばれているか確認する** 設定が誤っている場合は、MP ドライバを再インストールするか、印刷先のポートを正しいものに変更してください。 参考 LAN 接続で本機をご使用の場合は、ポート名は「CNBJNP_xxxxxxxxxx」と表示されます。“xxxxxxxxxx”は、MAC アドレスから生成される文字列 、または、ネットワークのセットアップ時にユーザが設定した任意の文字列です。
MP ドライバが正しくインストールされていない	MP ドライバが正しくインストールされていない可能性があります。『PC プリントガイド』（電子マニュアル）に記載されている手順にしたがって MP ドライバを削除したあと、『かんたんスタートガイド（USB 接続編）』または『ネットワークセットアップガイド』の操作にしたがって、再インストールしてください。

■ 自動両面印刷に関するエラーが表示されている

原因	対処方法
プリンタドライバで正しい用紙サイズが選ばれていない	アプリケーションソフトの用紙サイズを確認してください。 次に、プリンタドライバの［ページ設定］シート（Windows）、またはページ設定ダイアログ（Macintosh）で［用紙サイズ］の設定を確認し、印刷する用紙と同じサイズに設定してください。 自動両面印刷に対応する用紙サイズは、A4、B5、A5、またはレターサイズです。本機にセットした用紙サイズが正しいか確認してください。 参考 本機には手動で両面印刷を行う機能はありません。

■ 自動ヘッド位置調整に失敗した

原因	対処方法
自動ヘッド位置調整に失敗した	「液晶モニターにエラーメッセージが表示されている」の「自動ヘッド位置調整に失敗しました」（P.35）を参照してください。

■ Macintosh 「エラー番号：300」が表示されている

原因	対処方法
本機の準備ができていない	操作パネルのランプが点灯していることを確認してください。 操作パネルのランプがすべて消灯しているときは、電源ボタンを押して電源を入れてください。コピーボタンが点滅している間は、本機が初期動作中です。点滅から点灯に変わるまでお待ちください。 エラーランプがオレンジ色に点灯しているときは、本機にエラーが起きている可能性があります。対処方法については、「液晶モニターにエラーメッセージが表示されている」（P.32）を参照してください。
本機とパソコンが正しく接続されていない	本機の USB ケーブル接続部とパソコンが USB ケーブルでしっかり接続されていることを確認してください。 ● USB ハブなどの中継器を使用している場合は、それらを外して本機とパソコンを直接接続してから印刷してみてください。正常に印刷される場合は、USB ハブなどの中継器に問題があります。取り外した機器の販売元にお問い合わせください。 ● USB ケーブルに不具合があることも考えられます。別の USB ケーブルに交換し、再度印刷してみてください。 LAN 接続で本機をご使用の場合は、LAN ケーブルでネットワーク接続がされていることを確認してください。また、ネットワークの設定が正しくされているか確認してください。 ⇒「LAN 設定情報表示」（P.28）
プリントダイアログの［プリンタ］で、ご使用の機種名が選ばれていない	プリントダイアログの［プリンタ］で、ご使用の機種名を選んでください。 ［プリンタ］にご使用の機種名が表示されていない場合は、以下の手順で設定を確認してください。 **1 ［プリンタ］から［“プリントとファクス”環境設定］を選ぶ** Mac OS X v.10.3.9 をご使用の場合は、［プリンタ］から［プリンタリストを編集］を選びます。 **2 表示される画面でご使用の機種名が表示され、チェックマークが付いていることを確認する** **3 ご使用の機種名が表示されていない場合は、［+］（追加）ボタンをクリックして、本機を追加する** 本機を追加できない場合は『かんたんスタートガイド（USB 接続編）』または『ネットワークセットアップガイド』の操作にしたがって、MP ドライバを再インストールしてください。

■ Macintosh 「エラー番号：1701」が表示されている

原因	対処方法
インク吸収体が満杯になりそう	「液晶モニターにエラーメッセージが表示されている」の「インク吸収体が満杯に近づきました」（P.35）を参照してください。

■ Macintosh 「エラー番号：2001」が表示されている

原因	対処方法
デジタルカメラとの通信が応答のないまま一定の時間が経過／本機に対応していないデジタルカメラ、デジタルビデオカメラが接続されている	「液晶モニターにエラーメッセージが表示されている」の「対応していない機器が接続されました」（P.36）を参照してください。

■ Macintosh 「エラー番号：2002」が表示されている

原因	対処方法
USB ハブが接続されている	「液晶モニターにエラーメッセージが表示されている」の「対応していないUSB ハブが接続されました」（P.36）を参照してください。

■ Macintosh 「エラー番号：2500」が表示されている

原因	対処方法
自動ヘッド位置調整に失敗した	「液晶モニターにエラーメッセージが表示されている」の「自動ヘッド位置調整に失敗しました」（P.35）を参照してください。

■ Macintosh 「インク情報番号：1600」が表示されている

原因	対処方法
インク（PGI-2PBK/Y/M/C、PGI-1BK）がない	「液晶モニターにエラーメッセージが表示されている」の「インクがなくなった可能性があります」（P.32）（U044）を参照してください。

■ Macintosh 「インク情報番号：1688」が表示されている

原因	対処方法
インク（PGI-1BK）がない	「液晶モニターにエラーメッセージが表示されている」の「インクがなくなりました」（P.33）（U171）を参照してください。

■ Macintosh 「インク情報番号：1689」が表示されている

原因	対処方法
インク（PGI-1BK）がない	「液晶モニターにエラーメッセージが表示されている」の「インクなしを検知しました」（P.34）（U181）を参照してください。

■ Macintosh 「インク情報番号：1692」が表示されている

原因	対処方法
クリアインクがない	「液晶モニターにエラーメッセージが表示されている」の「クリアインクタンクが空になりました」（P.32）（U045）を参照してください。

■ Macintosh 「インク情報番号：1693」が表示されている

原因	対処方法
クリアインクがない	「液晶モニターにエラーメッセージが表示されている」の「クリアインクがなくなりました」（P.33）（U165/U166）を参照してください。

■ Macintosh 「インク情報番号：1698」が表示されている

原因	対処方法
インク（PGI-2PBK/Y/M/C）がない	「液晶モニターにエラーメッセージが表示されている」の「インクなしを検知しました」（P.33）（U172）を参照してください。

■ Macintosh 「インク情報番号：1699」が表示されている

原因	対処方法
インク（PGI-2PBK/Y/M/C）がない	「液晶モニターにエラーメッセージが表示されている」の「インクなしを検知しました」（P.34）（U182）を参照してください。

PictBridge 対応機器にエラーメッセージが表示されている

PictBridge 対応機器から直接印刷を行ったときに、PictBridge 対応機器にエラーが表示される場合があります。表示されるエラーと対処方法は以下のとおりです。

- 以下の説明は、キヤノン製 PictBridge 対応機器に表示されるエラーについて説明しています。ご使用の機器により表示されるエラーやボタン操作が異なる場合があります。キヤノン製以外の PictBridge 対応機器からのプリンタエラーの解除方法がわからない場合は、本機の液晶モニターに表示されているメッセージを確認してエラーを解除してください。本機のエラーの解除方法は「液晶モニターにエラーメッセージが表示されている」（P.32）を参照してください。
- 表示されるエラーや対処方法については、PictBridge 対応機器に付属の取扱説明書もあわせて参照してください。その他、PictBridge 対応機器側のトラブルについては、各機器の相談窓口へお問い合わせください。

PictBridge 対応機器側エラー表示	対処方法
プリンターは使用中です	パソコンなどから印刷している場合や準備動作を行っている場合は、終了するまでお待ちください。 印刷の準備ができると、自動的に印刷が開始されます。 印刷が始まらない場合は、本機の液晶モニターにメッセージが表示されていないか確認してください。 ● 「搬送部が汚れている可能性があります」と表示されている場合は、「搬送ローラの定期ローラクリーニングを行う」（P.23）を参照して定期ローラクリーニングを行ってください。 ● 「インク品質保持処理が完了しました　印刷を続行しますか ?」と表示されている場合は、OK ボタンを押してください。
用紙がありません	本機に用紙をセットして、PictBridge 対応機器のエラー画面で［続行］* を選んでください。 * ［続行］を選ぶ代わりに、本機の OK ボタンを押しても有効です。
用紙が詰まりました	PictBridge 対応機器のエラー画面で［中止］を選び、印刷を中止してください。 用紙を取り除き、用紙をセットし直してから本機の OK ボタンを押し、再度印刷を行ってください。
プリンターカバーが開いています	本機のスキャナユニット（プリンタカバー）を閉じてください。

PictBridge 対応機器側エラー表示	対処方法
プリントヘッド未装着	本機の電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。修理が必要な可能性があります。修理受付窓口へご連絡ください。 ⇒「お問い合わせの前に」（P.67）
廃インクタンクが満杯です／インク吸収体が満杯です	インク吸収体が満杯になりそうです。 「液晶モニターにエラーメッセージが表示されている」の「インク吸収体が満杯に近づきました」（P.35）を参照して、対処してください。
インクがありません／インクカセットが異常です	カラーまたはブラックインクまたはクリアインクのインクタンクが正しくセットされていないか、インクがなくなっています。 液晶モニターに表示されているエラーメッセージを確認し、エラーを解除してください。 ⇒「液晶モニターにエラーメッセージが表示されている」（P.32）
インクエラー	一度空になったインクタンクが取り付けられています。 「液晶モニターにエラーメッセージが表示されている」の「インクなしを検知しました」（P.33）を参照して、対処してください。
ハードウェアエラー	インクタンクにエラーが発生しました。 インクタンクを交換してください。 ⇒「インクタンクを交換する」（P.2）
プリンタートラブル発生	修理が必要なエラーが起きている可能性があります。 PictBridge 対応機器と接続されている USB ケーブルを抜いてから本機の電源を切り、本機の電源プラグをコンセントから抜いてください。 修理受付窓口へご連絡ください。 ⇒「お問い合わせの前に」（P.67）

フォトナビシートからうまく印刷できない

原因	対処方法
［フォトナビシートの読み取りに失敗しました］と表示される	● フォトナビシートの原稿台ガラスに置く向きや位置を確認してください。 ● 原稿台ガラスやフォトナビシートが汚れていないか確認してください。 ● フォトナビシートにチェックマークもれがないか確認してください。塗りつぶしたマークが薄いとスキャンされないことがあります。 詳しくは、『操作ガイド（本体操作編）』の「かんたんに写真を印刷する」の「フォトナビシートを使って印刷する」を参照してください。

メモリーカードが取り出せない

原因	対処方法
miniSD カード／ microSD カード／ xD-Picture カード／メモリースティック Duo ／メモリースティック PRO Duo ／ RS-MMC を、メモリーカード専用のカードアダプタに取り付けないままセットしようとした	お客様相談センターまたは修理受付窓口に修理をご依頼ください。 ⇒「お問い合わせの前に」（P.67） 重要 故障の原因となりますので、細い棒やピンセットなどを使用して取り出そうとしないでください。

スキャンがうまくできない

■ ScanGear（スキャンギア）が表示できない

原因	対処方法
スキャナドライバ ScanGear がインストールされていない	『かんたんスタートガイド（USB 接続編）』または『ネットワークセットアップガイド』に記載されている手順にしたがい、MP ドライバをインストールしてください。

■ スキャン時のその他のトラブル

スキャン時のその他のトラブルについては、『スキャンガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

ファクスを受信できない／ファクスを送信できない／電話がつながらない

ファクス時のトラブルについては、『操作ガイド（ファクス操作編）』を参照してください。

仕様

装置の概要	
印刷解像度（dpi）	4800（横）* × 1200（縦） * 最小 1/4800 インチのドット（インク滴）間隔で印刷します。
インターフェース	USB 2.0 High Speed* Wired LAN Interface（100BASE-TX/10BASE-T） * USB 2.0 Hi-Speed でのご使用は、パソコン側が USB 2.0 Hi-Speed に対応している必要があります。 また、USB 2.0 Hi-Speed インターフェースは USB 1.1 の完全上位互換ですので、パソコン側のインターフェースが USB 1.1 でも接続してご使用いただけます。
印字幅	最長　203.2 mm　フチなし時：最長 216 mm
稼動音	約 33.0 dB（A）（キヤノン写真用紙・絹目調での高品位印刷時）
動作環境	温度：5 ～ 35 ℃ 湿度：10 ～ 90%RH（結露しないこと）
保存環境	温度：0 ～ 40 ℃ 湿度：5 ～ 95%RH（結露しないこと）
電源	AC 100 - 240V　50/60 Hz （付属の電源コードは AC 100V 用です）
消費電力	印刷時（コピー時）：約 23 W 待機時（スリープ時）：約 3.2 W 電源 OFF 時：約 1 W ※ 電源を切った状態でも若干の電力が消費されています。電力消費をなくすためには、電源プラグをコンセントから抜いてください。
外形寸法	約 500 mm（横）× 535 mm（奥行き）× 257 mm（高さ） ※ 用紙サポート、排紙トレイ、原稿トレイを格納した状態
質量	本体　約 16.6 kg ※ プリントヘッド / インクタンクを取り付けた状態
プリントヘッド／インク	3584 ノズル（BK/Y/PBK 各 512 ノズル、C/M 各 512 × 2 ノズル）
ADF（自動原稿給紙装置）容量	● A4 とレターサイズ：最大 35 枚（75 g/m^2）、高さ 5 mm 以下 ● リーガルサイズ：最大 30 枚（75 g/m^2）、高さ 4 mm 以下 ● 上記以外の原稿：最大 1 枚

コピー仕様	
連続コピー枚数	最大 99 枚
濃度調整	9 段階、自動濃度調整あり（AE コピー）
拡大／縮小	25% ～ 400%（1 %刻み）

スキャナ仕様	
スキャンドライバ	TWAIN 準拠 /WIA（Windows Vista または Windows XP のみ）
最大原稿サイズ	A4/ レターサイズ、216 × 297 mm
読み取り解像度	光学（主走査、副走査）最大：4800 × 9600 dpi ソフトウェア補間（主走査、副走査）最大：19200 × 19200 dpi
読み取り階調（入力／出力）	グレースケール：16 bit/8 bit カラー：48 bit/24 bit（RGB 各色 16 bit/8 bit）

ファクス仕様	
運用回線	加入電話回線（PSTN）
直流抵抗値	約 310Ω（電話回線の抵抗値の合計が 1700Ω を超える場合など、電話回線や地域などの条件によっては通信できないことがあります。このようなときは、ご使用の電話回線施設会社にご相談ください。）
互換性	G3/ スーパー G3（白黒、カラー FAX）
データ圧縮システム	MH、MR、MMR、JPEG
モデムの種類	ファクスモデム
モデム速度	33600/31200/28800/26400/24000/21600/19200/16800/ 14400/12000/9600/7200/4800/2400 bps 自動フォールバック
電送速度	● 白黒原稿：約 3 秒 / ページ（33.6 kbps）、ECM-MMR、メモリから送信（キヤノン FAX 標準チャート No.1 標準モード使用時） ● カラー原稿：約 1 分 / ページ（33.6 kbps）、ECM-JPEG、メモリから送信（キヤノンカラーファクステストシート使用時）
読み取り画像処理	● ハーフトーン：グレー 256 階調 ● 濃度調整：3 段階
メモリ	送受信：約 250 ページ分（約 30 件） （キヤノン FAX 標準チャート No.1 標準モード使用時）
ファクス解像度	● 白黒〈標準〉：8 pels/mm × 3.85 lines/mm ● 白黒〈ファイン〉、〈写真〉：8 pels/mm × 7.7 lines/mm ● カラー：200 × 200 dpi
ダイヤル	● 自動ダイヤル ワンタッチダイヤル（8 件） 短縮ダイヤル（100 件） グループダイヤル（最大 107 件） ● 通常ダイヤル（テンキー使用） ● 自動リダイヤル ● 手動リダイヤル（リダイヤル / ポーズボタン使用）
その他の機能	● 同報送信（最大 109 件） ● 自動受信 ● FAX/TEL 自動切り替え ● 電話機によるリモート受信（初期設定のリモート受信 ID：25） ● 着信音なしの受信 ● ECM の有効 ● 通信管理レポート（20 通信ごとに印刷） ● エラー送信レポート ● 発信元情報

電話仕様	
接続	電話機 / 留守番電話（CNG 信号）/ データモデム

PictBridge 対応状況	
対応機種	PictBridge 対応機器
用紙サイズ（ペーパーサイズ）	L 判、2L 判、はがき、カード、六切、A4、KG サイズ *1、10.1 × 18 cm(ワイド) *2 *1 ご使用の PictBridge 対応機器によっては、［10x15］と表示される場合があります。 *2 キヤノン製以外の PictBridge 対応機器では、［ハイビジョン］と表示される場合があります。 ※ 普通紙以外の用紙をカセットから給紙した場合、故障の原因になることがありますので、必ず後トレイにセットしてください。
用紙タイプ（ペーパータイプ）	標準設定（本機の設定にしたがう）、フォト（キヤノン写真用紙・光沢 ゴールド、スーパーフォトペーパー）、普通紙（A4、はがきのみ）
レイアウト	標準設定（本機の設定にしたがう）、インデックス、フチなし、フチあり、35 面配置 * * 35 mm フィルムサイズ（べた焼きサイズ）で印刷されます。キヤノン製 PictBridge 対応のカメラのみ設定できます（機種によっては設定できない場合があります）。 ※ キヤノン製 PictBridge 対応のカメラをご使用の場合、「i マーク」が表示されている項目を選ぶと、撮影時の Exif 情報を一覧や指定写真の余白に印刷できます（機種によっては設定できない場合があります）。
イメージオプティマイズ（画像補正）	標準設定（本機の設定にしたがう）、入、切、VIVID*、NR（ノイズリダクション）*、顔明るく *、赤目補正 * * キヤノン製 PictBridge 対応機器のみ設定できます（機種によっては設定できない場合があります）。
日付／画像番号（ファイル番号）印刷	標準設定（切：印刷しない）、日付、画像番号（ファイル）、両方、切
トリミング	標準設定（切：トリミングなし）、入（カメラ側の設定にしたがう）、切

付録

動作条件

OS の動作条件が高い場合はそれに準じます。

	Windows	Macintosh
OS CPU メモリ	Windows Vista Pentium II （含む互換プロセッサ） 300 MHz 以上 128 MB Windows XP SP2 Pentium II （含む互換プロセッサ） 300 MHz 以上 128 MB Windows 2000 Professional SP4 Pentium II （含む互換プロセッサ） 300 MHz 以上 128 MB 注）Windows Vista、XP、2000 のいずれかがプレインストールされているコンピュータ	Mac OS X v.10.4 Intel 製プロセッサ PowerPC G3 以上 256 MB Mac OS X v.10.3.9 PowerPC G3 以上 128 MB 注）Mac OS 拡張（ジャーナリング）、または Mac OS 拡張でフォーマットされたハードディスクが必要です。
ブラウザ	Internet Explorer 6.0 以上	Safari
ハードディスク空き容量	650 MB 以上 注）付属のソフトウェアのインストールに必要な容量	550 MB 以上 注）付属のソフトウェアのインストールに必要な容量
CD-ROM ドライブ	必要	
表示環境	XGA 1024 x 768 以上	

- Windows Media Center では、一部の制限があります。
- Windows XP から Windows Vista にアップグレードして本機をお使いになる場合は、キヤノン製インクジェットプリンタに付属のソフトウェアをアンインストールしてから Windows Vista にアップグレードしてください。アップグレード後、ソフトウェアをインストールしてください。

電子マニュアル（取扱説明書）の動作環境

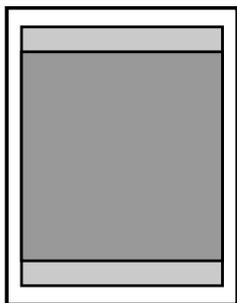
Windows	Macintosh
● ブラウザ：Windows HTML Help Viewer ※ Microsoft Internet Explorer 5.0 以上がインストールされている必要があります。 ご使用の OS や Internet Explorer のバージョンによっては、マニュアルが正しく表示されないことがあるため、Windows Update で最新の状態に更新することをお勧めします。	● ブラウザ：ヘルプビューア ※ ご使用の OS やヘルプビューアのバージョンによっては、マニュアルが正しく表示されないことがあるため、ソフトウェアアップデートで最新のバージョンに更新することをお勧めします。

環境および化学安全情報

製品の環境情報および化学安全情報（MSDS）につきましては、キヤノンホームページにてご覧いただけます。
canon.jp/ecology

印刷できる範囲

印刷の品質を維持するため、用紙の上下左右に余白を設けています。実際に印刷できる範囲は、これらの余白を除いた部分となります。

印刷推奨領域：　この範囲に印刷することをお勧めします。
印刷可能領域：　印刷できる範囲です。
ただし、印刷の品質または用紙送りの精度が低下することがあります。

自動両面印刷および両面コピーでは、用紙の上辺の印刷可能領域が通常より 2 mm 分狭くなります。

フチなし全面印刷

フチなし全面印刷を設定すると、余白のない印刷が可能になります。

- フチなし全面印刷には、以下の用紙をご使用ください。
  －ハイグレードコートはがき CH-301
  －キヤノン写真用紙・光沢 ゴールド GL-101
  －キヤノン写真用紙・絹目調 SG-201
  －スーパーフォトペーパー SP-101
  －マットフォトペーパー MP-101
  －両面マット名刺用紙 MM-101
  －インクジェットはがき
  －はがき *

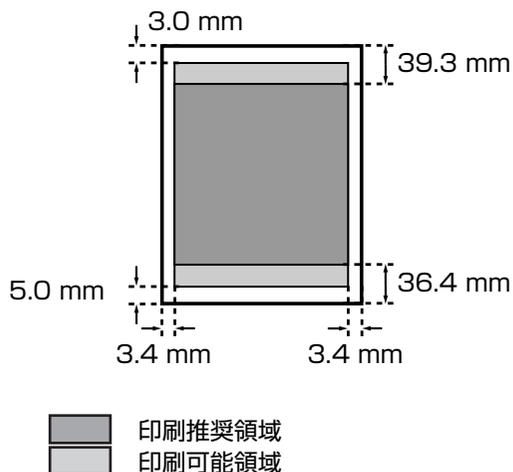
  * パソコンからの印刷にのみ使用できます。

  上記以外の用紙では印刷品質が著しく低下したり、色味が変わったりすることがあります。

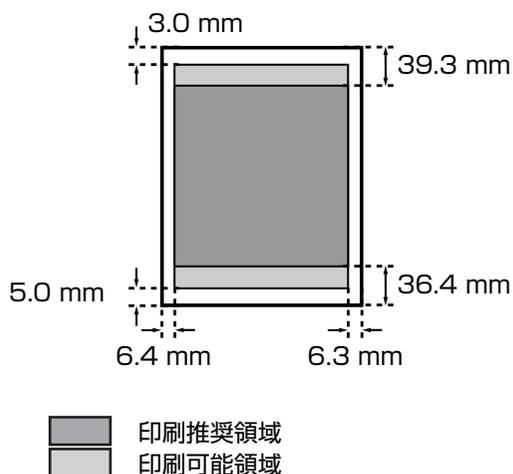
  普通紙では印刷品質がやや低下することがありますので、試し印刷などにご使用ください。なお、パソコンから印刷するときのみ普通紙にフチなし全面印刷ができます。
- 使用している用紙によっては、フチなし全面印刷を行うと用紙の上端や下端部分の印刷品質がやや低下したり、汚れが発生することがあります。
- コピーモードでフチなし全面印刷を行う場合、［各設定］の［コピーフチはみ出し量］で、フチなし全面印刷のはみ出し量を設定することができます。
  ⇒「本機の設定を変更する」（P.26）

■ A5、A4、B5、KG 4 x 6、US 4 x 8、US 5 x 7、六切、L 判、2L 判、はがき、往復はがき、カード、名刺、ワイド 101 x 180

サイズ	印刷可能領域（幅×長さ）
A5	141.2 mm × 202.0 mm
A4	203.2 mm × 289.0 mm
A4（ファインアートペーパー・“Photo Rag”）*1*2	203.2 mm × 227.0 mm
B5	175.2 mm × 249.0 mm
KG 4 x 6	94.8 mm × 144.4 mm
US 4 x 8*1	94.8 mm × 195.2 mm
US 5 x 7*1	120.2 mm × 169.8 mm
六切	196.4 mm × 246.0 mm
L 判	82.2 mm × 119.0 mm
2L 判	120.2 mm × 170.0 mm
はがき	93.2 mm × 140.0 mm
往復はがき *1	193.2 mm × 140.0 mm
カード	47.2 mm × 78.0 mm
名刺	48.2 mm × 83.0 mm
ワイド 101 x 180	94.8 mm × 172.6 mm

*1 パソコンからの印刷にのみ使用できます。
*2 用紙の上下端 35 mm は印刷されません。

■ レターサイズ、リーガルサイズ

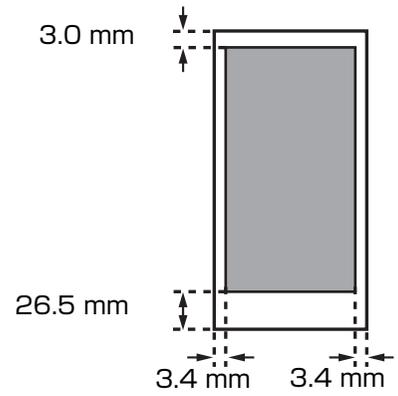
サイズ	印刷可能領域（幅×長さ）
レターサイズ	203.2 mm × 271.4 mm
レター（ファインアートペーパー・“Photo Rag”）*1*2	203.2 mm × 209.4 mm
リーガルサイズ	203.2 mm × 347.6 mm

*1 パソコンからの印刷にのみ使用できます。
*2 用紙の上下端 35 mm は印刷されません。

■ 封筒（洋形４号／洋形６号）

サイズ	印刷推奨領域（幅×長さ）
洋形４号＊	98.2 mm × 205.5 mm
洋形６号＊	91.2 mm × 160.5 mm

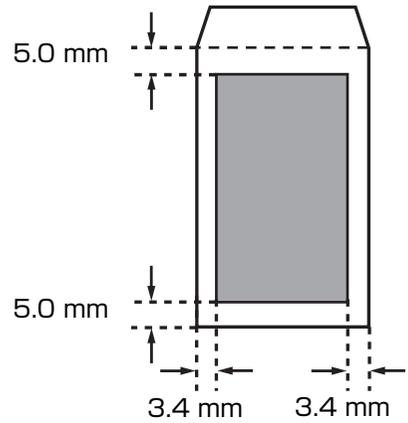
＊パソコンからの印刷にのみ使用できます。

印刷推奨領域

付録

■ 封筒（長形３号／長形４号）

サイズ	印刷推奨領域（幅×長さ）
長形３号＊	113.2 mm × 225.0 mm
長形４号＊	83.2 mm × 195.0 mm

＊パソコンからの印刷にのみ使用できます。

ただし、Macintosh をご使用の場合は、長形３号および長形４号の封筒は使用できません。

印刷推奨領域

お問い合わせの前に

本書または『ユーザーズガイド』（電子マニュアル）の「困ったときには」の章を読んでもトラブルの原因がはっきりしない、また解決しない場合には、次の要領でお問い合わせください。

パソコンなどのシステムの問題は?

本機が正常に動作し、MP ドライバのインストールも問題なければ、接続ケーブルやパソコンシステム（OS、メモリ、ハードディスク、インタフェースなど）に原因があると考えられます。

パソコンを購入された販売店もしくは、パソコンメーカーにご相談ください。

特定のアプリケーションで起こる場合は?

特定のアプリケーションソフトで起きるトラブルは、MP ドライバを最新のバージョンにバージョンアップすると問題が解決する場合があります。また、アプリケーションソフト固有の問題が考えられます。

アプリケーションソフトメーカーの相談窓口にご相談ください。

MP ドライバのバージョンアップの方法は、別紙の『**サポートガイド**』をご覧ください。

本機の故障の場合は?

どのような対処をしても本機が動かなかったり、深刻なエラーが発生して回復しない場合は、本機の故障と判断されます。
パーソナル機器修理受付センターに修理を依頼してください。

パーソナル機器修理受付センター

050-555-99088

【受付時間】<平日>9:00 ～ 18:00（日祝、年末年始を除く）

その他のお困り事は?

どこに問題があるか判断できない場合やその他のお困り事は、キヤノンお客様相談センターまでご相談ください。もしくは、キヤノンサポートホームページをご利用ください。

キヤノンお客様相談センター 050-555-90015
【受付時間】
<平日>9:00 ～ 20:00 <土日祝>10:00 ～ 17:00（1/1 ～ 1/3 を除く）

キヤノンサポートホームページ canon.jp/support

デジタルカメラや携帯電話の操作については、各機器の説明書をご覧いただくか説明書に記載されている相談窓口へお問い合わせ下さい。

●弊社修理受付窓口につきましては、別紙の『**サポートガイド**』をご覧ください。

※本機を修理にお出しいただく場合
・プリントヘッドとインクタンクは、取り付けた状態で本機の電源ボタンを押して電源をお切りください。プリントヘッドの乾燥を防ぐため自動的にキャップをして保護します。
・本機が輸送中の振動で損傷しないように、なるべくご購入いただいたときの梱包材をご利用ください。

重要：
・本機の重さは約 16.6 Kg あります。本機を輸送する際は、2 人で持ち運ぶことをお勧めします。
・梱包時 / 輸送時には本機を傾けたり、立てたり、逆さにしたりせず、水平な状態にしてください。
他の箱をご利用になるときは、丈夫な箱にクッションを入れて、本機がガタつかないようにしっかりと梱包してください。

お願い：
保証期間中の保証書は、記入漏れのないことをご確認のうえ、必ず商品に添付、または商品と一緒にお持ちください。保守サービスのために必要な補修用性能部品および消耗品（インク）の最低保有期間は、製品の製造打ち切り後 5 年間です。なお、弊社の判断により保守サービスとして同一機種または同程度の仕様製品への本体交換を実施させていただく場合があります。同程度の機種との交換の際には、ご使用の消耗品や付属品をご使用いただけない場合、またご使用可能なパソコンの OS が変更される場合もあります。

付属のソフトウェアに関する お問い合わせ窓口

ソフトウェアについては、『セットアップ CD-ROM』の電子マニュアル（取扱説明書）、またはソフトウェアの READ ME ファイル、HELP などをあわせてご覧ください。

- **らくちん CD ダイレクトプリント for Canon**
  （株）メディアナビ　　03-5467-1781
  http://www.medianavi.jp/ 「サポート」
- **読取革命 Lite**
- **ファイル管理革命 Lite**
  パナソニック　ソリューションテクノロジー（株）
  0570-00-8700
  092-483-4322
  パナソニック　ソリューションテクノロジー　ソフトサポートセンター
  http://panasonic.co.jp/pss/pstc/products/bundle/
- **ArcSoft PhotoStudio（アークソフトフォトスタジオ）**
  アークソフトジャパン　0570-06-0655
  http://www.arcsoft.jp/「サポート」
- **上記以外のソフトウェア**
  キヤノンお客様相談センター　050-555-90015
  canon.jp/support

※お使いの製品によって付属されるソフトウェアは異なります。

付録

使用済みインクカートリッジ回収のお願い

キヤノンでは、資源の再利用のために、使用済みインクカートリッジの回収を推進しています。

この回収活動は、お客様のご協力によって成り立っております。

つきましては、“キヤノンによる環境保全と資源の有効活用”の取り組みの主旨にご賛同いただき、回収にご協力いただける場合には、ご使用済みとなったインクカートリッジを、お近くの回収窓口までお持ちくださいますようお願いいたします。

キヤノンマーケティングジャパンではご販売店の協力の下、全国に回収窓口をご用意いたしております。

また回収窓口に店頭用カートリッジ回収スタンドの設置を順次進めております。

回収窓口につきましては、下記のキヤノンのホームページ上で確認いただけます。

キヤノンサポートホームページ　　canon.jp/support

事情により、回収窓口にお持ちになれない場合は、使用済みインクカートリッジをビニール袋などに入れ、地域の条例に従い処分してください。

■使用済みカートリッジ回収によるベルマーク運動

キヤノンでは、使用済みカートリッジ回収を通じてベルマーク運動に参加しています。

ベルマーク参加校単位で使用済みカートリッジを回収していただき、その回収数量に応じた点数をキヤノンより提供するシステムです。

この活動を通じ、環境保全と資源の有効活用、さらに教育支援を行うものです。詳細につきましては、下記のキヤノンホームページ上でご案内しています。

環境への取り組み　canon.jp/ecology

お問い合わせのシート

ご相談の際にはすみやかにお答えするために予め下記の内容をご確認のうえ、お問い合わせくださいますようお願いいたします。また、おかけまちがいのないよう電話番号はよくご確認ください。

【インクジェット複合機との接続環境について】

■パソコンと接続している場合

パソコンメーカ名(　　　　　　　　　　)　モデル名(　　　　　　　　　　)

CPU名(　　　　　　)　クロック周波数(　　　　　　MHz)

搭載メモリ容量(　　　　　　MB)　ハードディスク容量(　　　　　　MB/GB)

OS名　・Windows　□Vista　□XP　□2000(Ver.　　　　　　)

　　　・Mac OS(Ver.　　　　　)　　・その他(　　　　　　　　　)

ご使用のアプリケーションソフト名およびバージョン(　　　　　　　　　　)

ウイルスチェック等ご使用の常駐ソフト名およびバージョン(　　　　　　　　)

接続ケーブル：□付属USBケーブル　□その他(メーカや型番:　　　　　　)

接続方法：　□直結(HUB使用　有/無)　□ネットワーク(種類:　　　)　□その他(　　　　)

■カメラとダイレクト接続している場合

カメラメーカ名(　　　　　　　　　　)モデル名(　　　　　　　　　　)

■メモリカードをご使用の場合

メモリカード種類(　　　　　)メモリカードメーカ(　　　　　)型番(　　　　　　)

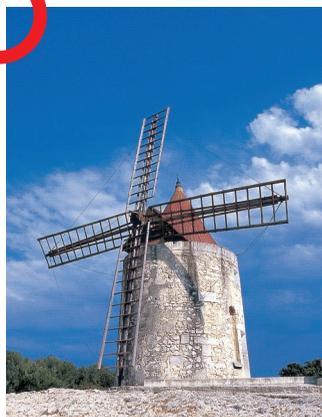
【エラー表示】

表示されたエラーメッセージ　(できるだけ正確に)

(　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　)

キヤノンマーケティングジャパン株式会社　〒108-8011 東京都港区港南2-16-6

インクが
出ない・かすれるときは？

プリントヘッドのノズル（インクのふき出し口）が目づまりすると、
色味がおかしかったり印刷がかすれる場合があります。

こんなときは？

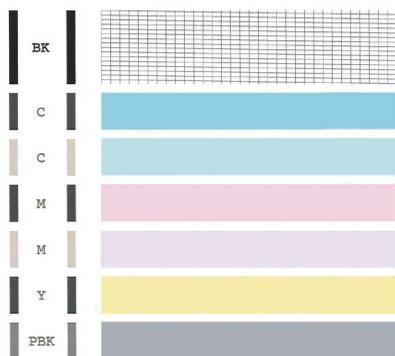
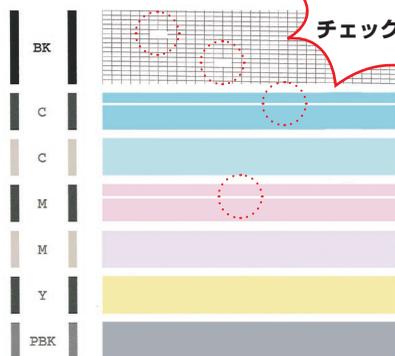
どうしたら
いいのかな？

ポイント

プリントヘッドは目づまりしていませんか？

▶ノズルチェックパターンを印刷し、確認してください。（本書 13 ページ）

良い例

悪い例

**ノズルチェックパターンが正しく印刷されない場合は、
本書の手順にしたがって本機のお手入れをしてください。**

いますぐ、 **本書 12 ページへ**

参考 プリントヘッドの目づまりを防ぐため、月 1 回程度、定期的に印刷されることをお勧めします。

きれいに画像がスキャンできなかった場合は？

MP Navigator EX（エムピーナビゲーターイーエックス）を使う場合は…

詳しくは、『スキャンガイド』（電子マニュアル）を参照してね！

重要

- ［モアレ低減］や［輪郭強調］を［ON］にしてスキャンすると、時間がかかることがあります。
- ［モアレ低減］が［ON］になっていても［輪郭強調］が［ON］になっているとモアレが残ることがあります。
  その場合は［輪郭強調］を［OFF］にしてください。

ヒント 1

印刷物（雑誌、カタログなど）をスキャンしたときに縞模様が入ってしまう場合は…

［モアレ低減］を［ON］にしてスキャンしよう！

ヒント 2

画像がぼやけてしまう場合は…

［輪郭強調］を［ON］にしてスキャンしよう！

MP ドライバを新しくするときは？

最新版の MP ドライバは古いバージョンの改良や新機能に対応しています。
MP ドライバを新しくする（「バージョンアップ」といいます）ことで、新しい OS に対応したり、印刷トラブル・スキャントラブルを解決できることがあります。

準備

最新の MP ドライバをダウンロードする

「自動インストールサービス」を使うとカンタンに入れ替えができるよ！

キヤノン
ホームページに
アクセス！

ステップ 1

古い MP ドライバを削除する（Windows の場合）

［スタート］→［(すべての）プログラム］
→［Canon XXX］（「XXX」は機種名）
→［アンインストーラ］

以降は画面の指示にしたがってね！

ステップ 2

最新の MP ドライバをインストールする

◆削除・インストールの前に
・本機の電源を切ってください。
・本機とパソコンを接続しているケーブルを抜いてください。

※自動インストールを行う前に、ホームページで対象 OS を必ず確認してください。
※自動インストールが正常に終了すれば、ステップ 1 ～ 2 の操作は必要ありません。

ダウンロード・操作手順について詳しくは、canon.jp/download へ

パソコンからの印刷を中止するときは？

［マイ プリンタ］にもヒントが載っています（Windows のみ）

電源ボタンは押さないで！

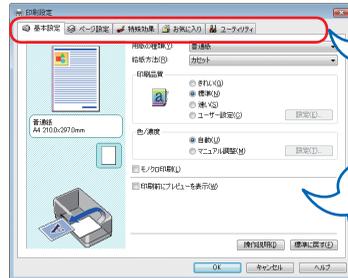
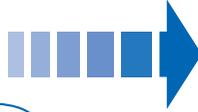
不要な印刷ジョブがたまって印刷できなくなる場合があります。

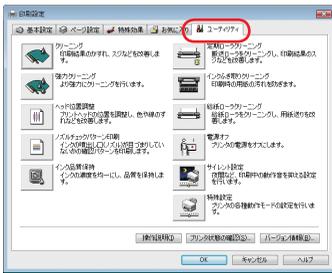
参考

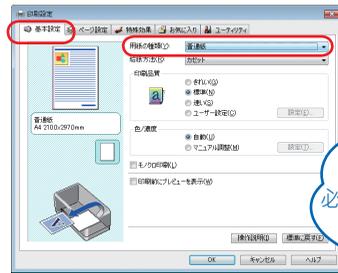
ストップ／リセットボタンを押しても印刷が止まらないときは、プリンタドライバの設定画面を開き、プリンタ状態の確認画面から不要な印刷ジョブを削除してください。（本書 44 ページ）

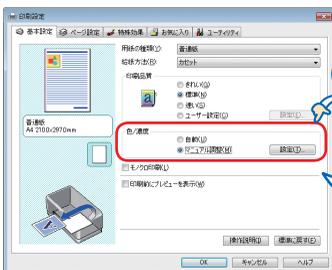
パソコンから、よりきれいに印刷するためには？

パソコンから印刷するときは、プリンタドライバと［マイ プリンタ］（Windows のみ）にきれいに印刷できるヒントがあります。

（Windows Vista をお使いの場合）

ヒント 1

ここで、本機のお手入れをしてね！

ヒント 2

ここで、印刷する用紙の種類を必ず選んでね！

ヒント 3

ここで、印刷するときの写真の色合いが調整できるよ！

例）カラーバランスでシアンを強くし、イエローを弱くして印刷しました。全体の色が均一に変化しています。

補正なし　カラーバランスで調整

詳しくは、『PC プリントガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

［マイ プリンタ］を使うと、プリンタドライバをかんたんに開くことができます。

●キヤノン PIXUS ホームページ　canon.jp/pixus

新製品情報、Q&A、各種ドライバのバージョンアップなど製品に関する情報を提供しております。
※通信料はお客様のご負担になります。

●キヤノンお客様相談センター

PIXUS・インクジェット複合機に関するご質問・ご相談は、下記の窓口にお願いいたします。

キヤノンお客様相談センター

050-555-90015

年賀状印刷専用窓口
050-555-90019（受付期間：11/1 ～ 1/15）

【受付時間】〈平日〉9:00 ～ 20:00、〈土日祝日〉10:00 ～ 17:00（1/1 ～ 1/3 は休ませていただきます）

※上記番号をご利用いただけない方は 043-211-9631 をご利用ください。
※ＩＰ電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。
※受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

本機で使用できるインクタンク番号は、以下のものです。

インクタンクについてのご注意

- インクタンクに穴を開けるなどの改造や分解をすると、インクが漏れ、本機の故障の原因となることがあります。改造・分解はお勧めしません。
- インクの詰め替えなどによる非純正インクのご使用は、印刷品質の低下やプリントヘッドの故障の原因となることがあります。安全上問題はありませんが、まれに、純正品にないインク成分によるとみられるプリントヘッド部分の発熱・発煙事例 * も報告されています。キヤノン純正インクのご使用をお勧めします。
（* すべての非純正インクについて上記事例が報告されているものではありません。）
- 非純正インクタンクまたは非純正インクのご使用に起因する不具合への対応については、保守契約期間内または保証期間内であっても有償となります。

※インクタンクの交換については、2 ページを参照してください。

紙幣、有価証券などを本機で印刷すると、その印刷物の使用如何に拘わらず、法律に違反し、罰せられます。
関連法律：刑法第 148 条、第 149 条、第 162 条／通貨及証券模造取締法第 1 条、第 2 条　等

QT5-2735-V02　XXXXXXXX

PRINTED IN THAILAND